

愛知学院大学短期大学部

2022 年度学生生活アンケート結果

愛知学院大学学生委員会および学生部学生課は、「本学での学生生活の現状を把握し、今後の学生生活をより充実したものにするために、本学としてどのようなことをしなければならないかを知るために」、平成元年（1989年）から、後3年もしくは4年ごとに「学生生活アンケート」を実施している。

愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科においても、完成年度を迎えた平成20年（2008年）度に第1回の「学生アンケート」を実施し、その後、平成25年（2013年）度に第2回、平成28年（2016年）度に第3回、令和元年（2019年）度に第4回、令和3年（2021年）度に第5回を実施し、今回、第6回、令和4年（2022年）度アンケートを実施した。なお、アンケートは、令和元年（2019年）度よりIR・キャリアサポート委員会によって実施され、また、調査対象に専攻科が追加された（全学年のデータは専攻科生を含む）。さらに、令和3年（2021年）度からは毎年実施することとなった。

従来のアンケートは、教室内でアンケート用紙に回答する形で実施されて来たが、令和3年（2021年）度は新型コロナウイルス感染症の蔓延により教室内での実施が困難となり、初めてFormsを利用したオンラインアンケートとなった。令和4年（2022年）度も同様の方法で、令和4年（2022年）12月21日～令和5年（2023年）1月31日の期間に実施した。

アンケートの設問事項は平成25年（2013年）に愛知学院大学学生委員会および学生部学生課によって行われた「学生生活アンケート」に準じて設定されたが、その後、短期大学部の実情や時代背景等を考慮して、見直し変更している。令和3年（2021年）度のアンケート項目は、概ね令和元年（2019年）度に準じているが一部変更した。令和4年（2022年）度は、令和3年（2021年）度のアンケート項目と同じ内容での実施であった。

令和4年（2022年）度アンケート実施時の在籍者数は、1年生106名、2年生106名、3年生103名、専攻科生10名である。回答が得られた学生数は、1年生74名（回答率69.8%）、2年生51名（同48.1%）、3年生52名（同50.5%）、専攻科生8名（同80.0%）であった。2年生、3年生の回答率は約半分で、1年生に比較して低かったが、全体的には、短期大学部歯科衛生学科の意向を反映していると思われる。次年度も、Formsを利用したオンラインアンケートを継続する予定だが、回答率を上げるための工夫が必要であると考えられる。

コロナ禍での学生生活は、かつて経験した事のないものであり、特に、全学年ともずっとコロナ禍で過ごしてきたことから「学生生活」を身近に感じる事が少なかったかも知れない。

なお、設問によっては無回答がみられたが、それらについては無視し、統計処理を行っていない。

1. 基本情報

[問3]現在の住居形態を選択してください。

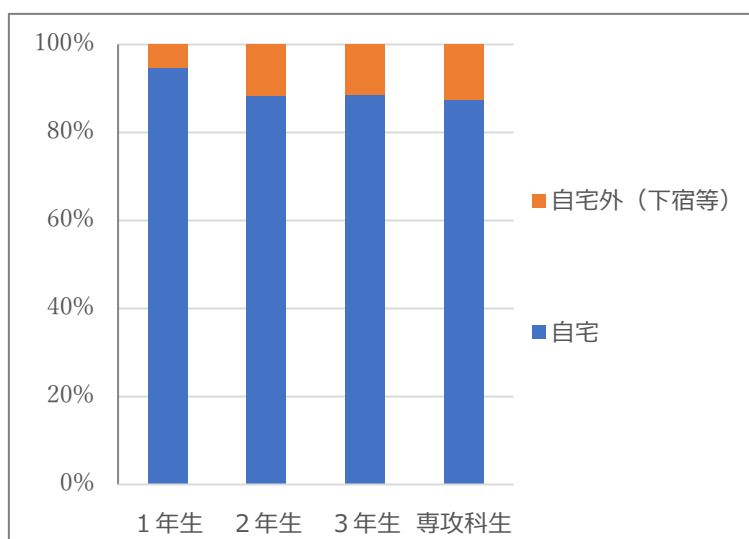
1. 自宅
2. 自宅外（下宿等）

問3表 全学年の選択肢別割合（％）

	自 宅	自宅外	その他	合計
前 回	88.85	11.15	—	100
今 回	90.81	9.19	—	100

この設問は、学生の住居形態について、「自宅」、「自宅外」、「その他」の3つの選択肢で回答を求めた。全体としては、「自宅」が圧倒的に多く、前回と比較しても、ほとんど変化がみられなかった。学年別では、「自宅外」は1年生で特に少なく、2年生、3年生、専攻科生では同程度で少なかった。

現在の住居形態



[問4] 授業料等の学費は誰が支払っているか選択してください。

1. 全額家庭から払っている
2. 半分以上は家庭から払っている
3. 全額奨学金で払っている
4. 半分以上は奨学金で払っている
5. 全額自分のアルバイト代で払っている
6. 半分以上は自分のアルバイト代で払っている
7. その他

問4表 全学年の選択肢別割合 (%)

	全額家庭	半分以上 家庭	全額奨学金	半分以上 奨学金	全額 アルバイト	半分以上 アルバイト	その他	合計
前 回	73.08	8.46	7.69	8.85	0.77	0.38	0.77	100
今 回	71.89	9.73	3.78	12.97	0.00	0.54	1.08	100

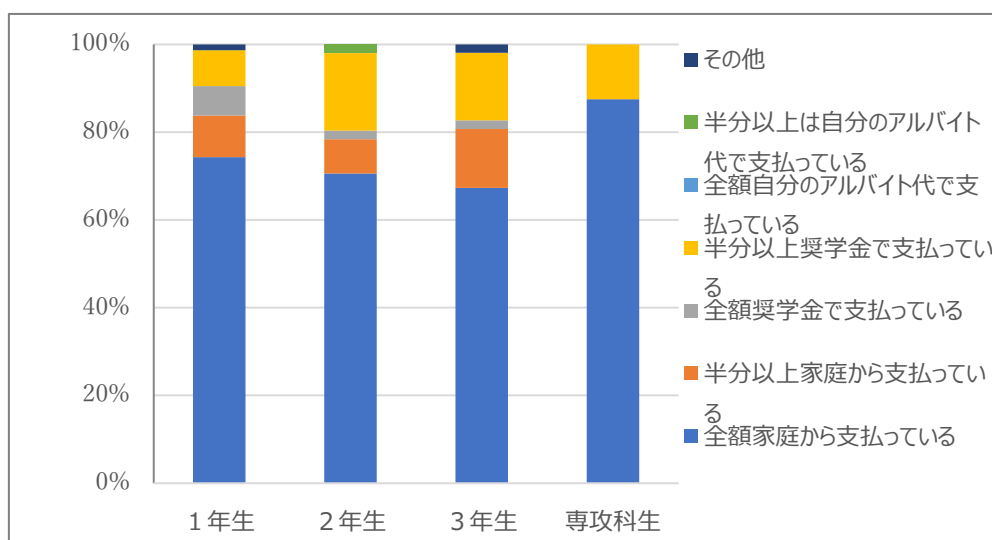
この設問では、学費の支払い者は誰かについて回答を求めた。

全体としては、「全額家庭から払っている」学生が約 72.0%を占める。次いで、「半分以上は奨学金で払っている」、「半分以上は家庭から払っている」、「全額奨学金で払っている」の順である。

前回と比較すると、「奨学金」（「全額奨学金で払っている」＋「半分以上は奨学金で払っている」）で払っている学生の割合は、前回 16.5%，今回 16.8%とほぼ同程度である。

学年別にみると、「全額家庭から払っている」学生は 1 年生 74.3%，2 年生 70.6%，3 年生 67.3%，専攻科生 87.5%と、専攻科生で家庭への依存度が高いことがわかる。一方、「全額あるいは半分以上奨学金」で支払っている学生の割合は、1 年生 14.9%，2 年生 19.6%，3 年生 17.3%，専攻科生 12.5%で、専攻科生の奨学金への依存度は最も低く、経済的に恵まれた家庭環境が比較的多いと思われる。

学費の支払者



[問 5] 家庭からもらっている月あたりの金額を選択してください。

1. もらっていない
2. 30,000 円未満
3. 30,000～50,000 円未満
4. 50,000 円以上

問 5 表 全学年の選択肢別割合 (%)

	もらってない	30,000 円未満	30,000 円以上 50,000 円未満	50,000 以上	合計
前回	70.77	22.31	2.69	4.23	100
今回	71.89	19.46	5.95	2.70	100

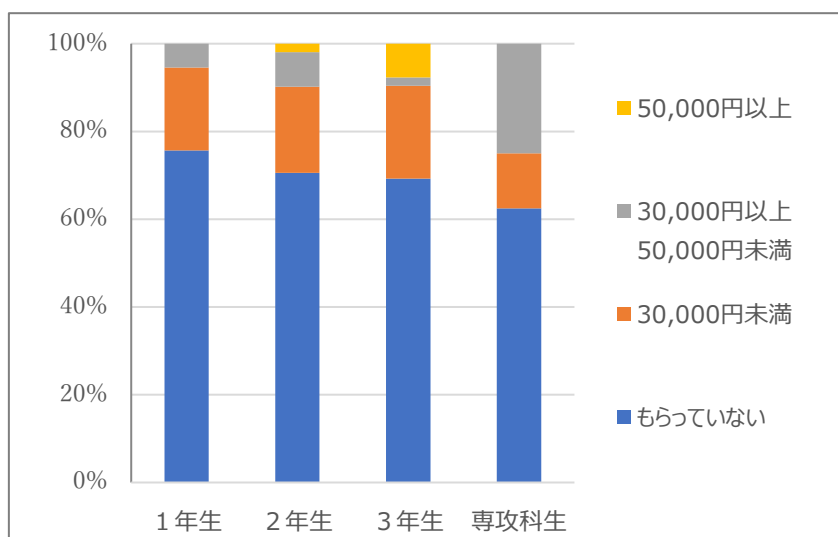
この設問では、家庭からもらう 1 ヶ月あたりの小遣いの額について回答を求めた。

全体としては、小遣いを「もらっていない」学生が 71.9%を占め、もらっている学生より多い。もらっている学生も「30,000 円未満」が 19.5%で、91.4%の学生は小遣いを「もらってない」か、もらっているも「30,000 円未満」である。

前回と比較すると、小遣いをもらっていない学生は同程度である。

学年別にみると、「もらっていない」学生は1年生 75.7%，2年生 70.6%，3年生 69.2%，専攻科生では 62.5%と、高学年になるほど減少した。

小遣いの金額



[問 6]平均睡眠時間を選択してください。

1. 3 時間未満
2. 3 時間以上 5 時間未満
3. 5 時間以上 7 時間未満
4. 7 時間以上 9 時間未満
5. 9 時間以上

問 6 表 全学年の選択肢別割合 (%)

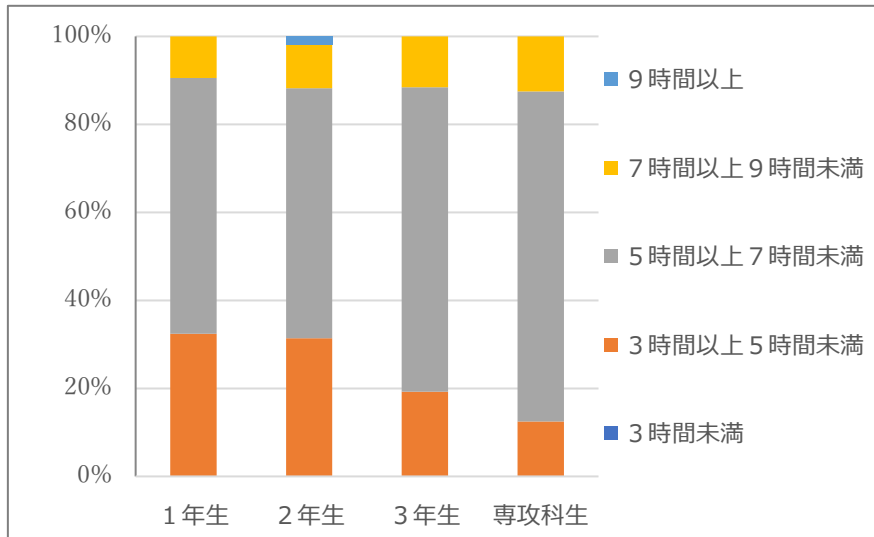
	3 時間未満	3 時間以上 5 時間未満	5 時間以上 7 時間未満	7 時間以上 9 時間未満	9 時間以上	合計
前 回	0.00	15.38	74.62	9.23	0.77	100
今 回	0.00	27.57	61.62	10.27	0.54	100

この設問では、普段の睡眠時間について回答を求めた。

睡眠時間は「5 時間以上 7 時間未満」が最も多く 61.6%，次いで「3 時間以上 5 時間未満」27.6%，「7 時間以上 9 時間未満」10.3%であり，前回と同様の傾向がみられる。

学年別に比較すると，睡眠時間が比較的短い「3 時間以上 5 時間未満」は，1 年生 32.4%，2 年生 31.4%，3 年生 19.2%，専攻科生 12.5%で，比較的長い「7 時間以上 9 時間未満」は，1 年生 9.4%，2 年生 9.8%，3 年生 11.5%，専攻科生 12.5%である。睡眠時間の短い学生は 1 年生，2 年生に多く，睡眠時間の長い学生は専攻科生に多い。

平均睡眠時間



2. 通学状況

[問 7]現在どこに住んでいるか選択してください。

1. 名古屋市内
2. 名古屋市以外の愛知県
3. 岐阜県
4. 三重県
5. 静岡県
6. その他

問 7 表 全学年の選択肢別割合 (%)

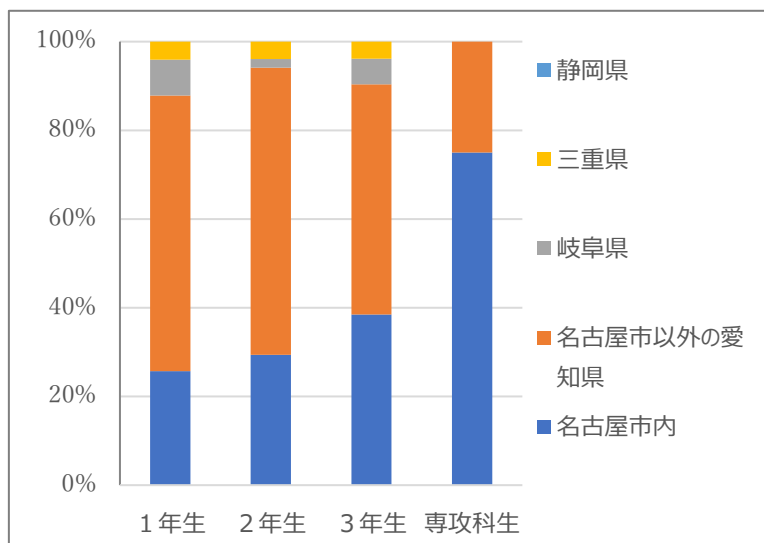
	名古屋市	愛知県	岐阜県	三重県	静岡県	その他	合計
前 回	38.08	51.54	5.38	5.00	0.00	0.00	100
今 回	32.43	58.38	5.41	3.78	0.00	0.00	100

この設問では、どこに住んでいるかについて回答を求めた。

全体としては、「名古屋市以外の愛知県」に住む学生が半数以上を占め、次いで「名古屋市」、「岐阜県」、「三重県」の順である。この傾向は、前回とほとんど同じである。

学年別に見ると、「名古屋市」に住む学生は、1年生 25.7%、2年生 29.4%、3年生 38.5%、専攻科生 75.0%と、3年生と専攻科生に多い。逆に、「岐阜県」、「三重県」に住む学生は1年生に多い、愛知県」に住む学生は専攻科生で 100.0%、1～3 年生ではどの学年も 90.0%前後でほとんど同じである。

現在の住所



[問 8]次の中から現在利用している通学手段を選択してください。(複数回答可)

1. 電車
2. バス
3. 自転車
4. 徒歩
5. その他

問 8 表 全学年の選択肢別割合 (%)

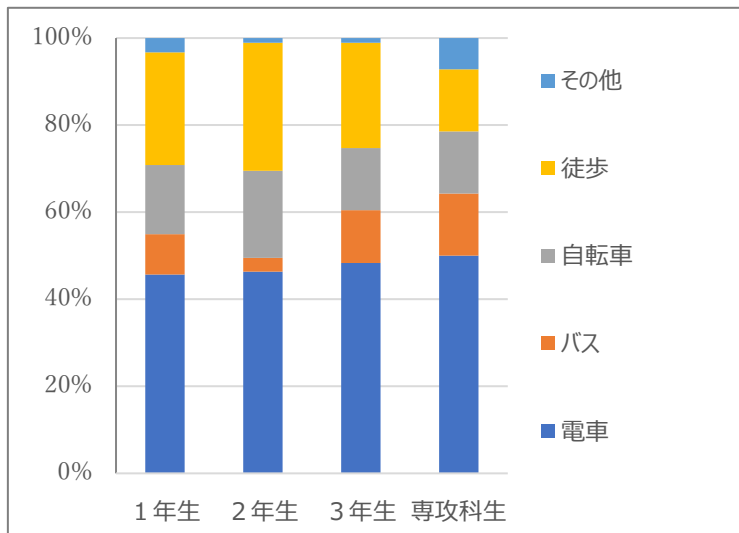
	電車	バス	自転車	徒歩	その他
前 回	88.85	12.69	28.08	45.77	3.08
今 回	88.65	16.22	31.35	49.19	4.32

この設問では、キャンパスまでの通学手段について回答を求めた。

全体としては、電車が最も多く、次いで、徒歩、自転車、バスの順であり、前回と同様の傾向である。

学年別にみると、電車は1年生 45.7%、2年生 46.3%、3年生 48.4%、専攻科生 50.0%とほぼ同じ割合である。「徒歩」は1年生 25.8%、2年生 29.5%、3年生 24.2%、専攻科生 14.3%で、2年生にやや多く、専攻科生は少ない。「自転車」は、1年生 15.9%、2年生 20.0%、3年生 14.3%、専攻科生 14.3%で2年生が多い。

通学手段



[問 9]平均通学所要時間（片道）を選択してください。

1. 1時間未満
2. 1時間以上 2時間未満
3. 2時間以上

問 9 表 全学年の選択肢別割合 (%)

	1 時間未満	1 時間以上 2 時間未満	2 時間以上	合計
前 回	51.92	47.31	0.77	100
今 回	45.95	51.35	2.70	100

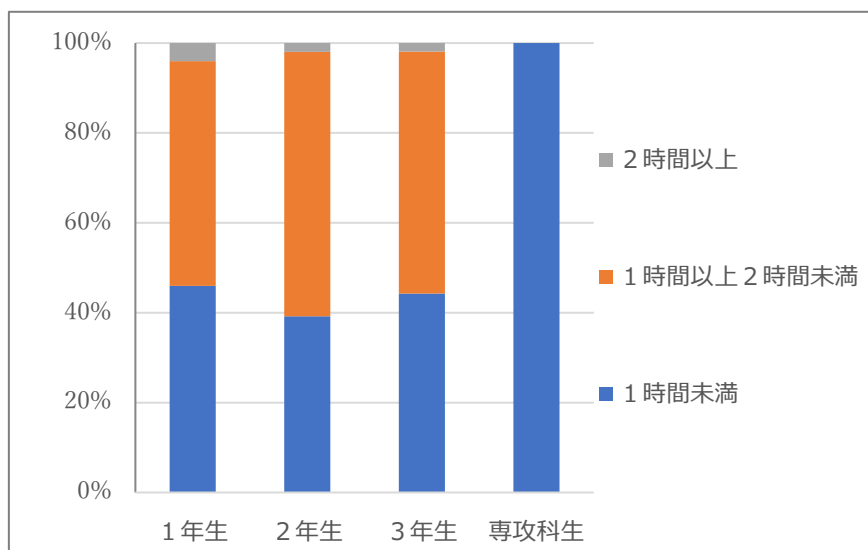
この設問では、片道の通学時間がどれくらいかについて回答を求めた。

全体としては、通学時間が「1時間未満」の学生が 46.0%、「1時間～2 時間未満」が 51.4%と両者で 97.4%を占める。

前回と比較すると、「1時間～2 時間未満」、「2 時間以上」が増加し、「1 時間未満」が減少している。

学年別にみると、1, 2, 3 年生ともに、「1 時間未満」と「1 時間以上 2 時間未満」がほとんどであり、専攻科は全員が「1 時間未満」であった。

通学所要時間（片道）



3. 大学生活

[問10]授業以外で教員と話をすることはありますか。

1. よくある
2. ときどきある
3. ほとんどない
4. 全くない

問10表 全学年の選択肢別割合（%）

	よくある	ときどきある	ほとんどない	まったくない	合計
前 回	1.92	26.54	47.31	24.23	100
今 回	2.70	26.49	51.35	19.46	100

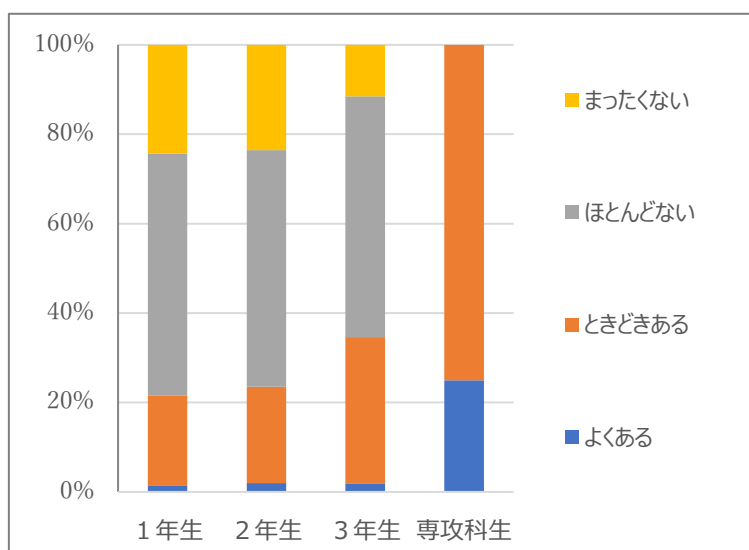
この設問では、授業以外でどのくらいの頻度で教員と会話をするかについて回答を求めた。

全体としてみると、教員との「会話がある」（「よくある」＋「ときどきある」）学生の割合は29.2%、「会話がな」（「ほとんどない」＋「まったくない」）学生は70.8%である。

前回と比較すると、「ときどきある」、「まったくない」学生が減少し、「よくある」、「ほとんどない」学生が増加した。

学年別にみると、「会話がある」学生の割合は1年生では21.6%であるが、2年生で23.5%、3年生では34.6%と増加している。専攻科生は100.0%とすべての学生が授業以外で教員と会話している。学年が上がるにつれて教員とよく話す傾向にある。学年が進むと、カリキュラムの中で実習の占める割合が増えるにしたいが、教員と身近に接する機会が多くなり、授業以外でも教員との会話が増えると考えられる。

教員との会話の頻度



[問 11] 昼食をおもにどこで食べるか選択してください。

1. 自宅（下宿含む）で食べる
2. 短大部棟2階マグネットラウンジで食べる
3. 薬学部棟1階学生ホールで食べる
4. 4号館学食で食べる
5. 歯学部附属病院の食堂で食べる
6. 空き教室（講義室）で食べる
7. 学外の飲食店で食べる
8. ほとんど食べない
9. その他

問 11 表 全学年の選択肢別割合（％）

	自宅	短大部棟2階 マグネット ラウンジ	4号館食堂	歯学部附属 病院食堂	短大部棟講義室 (空き教室)	学外の 飲食店	ほとんど 食べない	その他	合計
前 回	1.92	11.54	1.15	27.69	54.23	0.00	0.00	3.46	100
今 回	2.16	21.62	2.70	18.92	53.51	0.00	0.00	1.08	100

この設問では、昼食をどこでとるかについて回答を求めた。

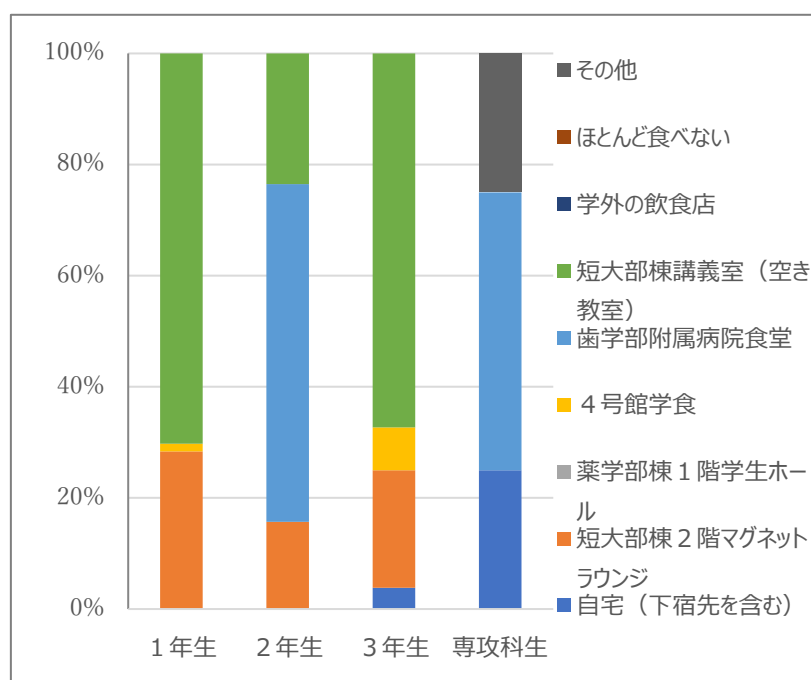
全体としては、昼食を「ほとんど食べない」学生はいない。昼食に関しても規則正しい食生活をしている。また、「学外の飲食店で食べる」学生もいない。食事を提供する学内施設は、楠元キャンパスには4号館食堂があり、末盛キャンパスには歯学部附属病院食堂がある。また、食事は提供されないが短大部棟にマグネットラウンジが新設され多くの学生が利用している。しかし、最も多いのは「講義室」であること

から自宅からの弁当持参か、コンビニなどで購入した弁当を利用していると思われる。もちろん、食事を提供する施設においても弁当の利用はできる。

本学科は、1年生、2年生の春学期、3年生の秋学期は楠元キャンパスで授業および基礎実習を、2年生の秋学期、3年生の春学期、専攻科生は主に歯学部附属病院で臨床実習を行っているため、昼食をとる場所は楠元キャンパスと歯学部附属病院では異なる。楠元キャンパスでは、「講義室」で昼食をとる学生が最も多く、次いで、「短大部棟2階マグネットラウンジ」、「4号館食堂」の順であり、この3カ所でほとんどの学生が昼食をとっている。主に歯学部附属病院で臨床実習を行っている期間は、多くの学生が「歯学部附属病院食堂」であるが、前回に比べ「歯学部附属病院食堂」の利用が減少している。選択肢にはないがロッカールームで昼食をとっている可能性がある。コロナウイルス感染症の感染拡大をうけ、「薬学部1階学生ホール」は使用禁止となり前回に引き続き利用者は0である。また、4号館食堂は食事を提供できるようになっているが、利用者は少ない。また、「自宅（下宿を含む）」で昼食をとる学生は前回とほぼ同程度である。

学年別に見ると、「講義室」を利用する学生は、1年生70.3%、2年生23.5%、3年生67.3%、専攻科生0.0%であり、短大部棟2階マグネットラウンジを利用する学生では1年生28.4%、2年生15.7%、3年生21.2%、専攻科生0.0%である。「講義室」と「短大部棟2階マグネットラウンジ」は2年生の利用が少ない。また、「歯学部附属病院食堂」を利用する学生は2年生で60.1%と多い。これは、アンケートを取った時点で2年生が臨床実習期間であったことが関係している。一方専攻科生は、臨床実習を行っている場合は「歯学部附属病院食堂」を利用し、楠元キャンパスにいる場合は専攻科専用の控室で昼食をとっている可能性が高い。

昼食の摂取場所



[問 12]学内の図書館情報センターをどの程度利用しているか選択してください。

1. ほぼ毎日利用している
2. 週に 2～3 日利用している
3. 1 ヶ月に数日利用している
4. テスト前やレポート提出のときだけ利用している
5. ほとんど利用していない

問 12 表 全学年の選択肢別割合 (%)

	ほぼ毎日利用	週に 2・3 日 利用	一ヶ月に数日 利用	テスト前やレポ ート提出時	ほとんど利用 しない	合計
前 回	0.00	1.15	2.31	15.00	81.54	100
今 回	0.00	0.00	3.24	24.86	71.89	100

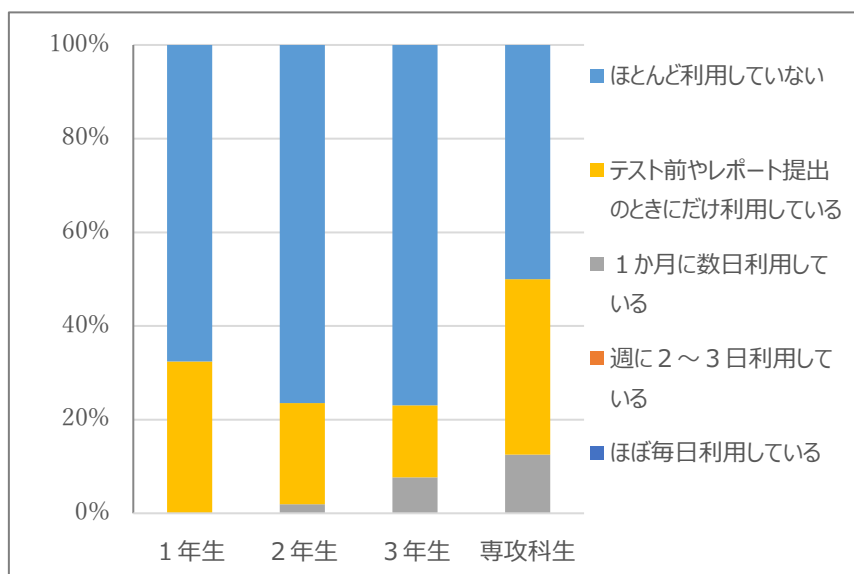
この設問では、図書館（歯学・薬学図書館情報センター）の利用頻度について回答を求めた。

全体としては、「ほとんど利用しない」学生が7割以上を占める。利用する学生は「テスト前やレポート提出のときだけ利用している」学生が多く、定期的に図書館を利用している学生は少数である。

前回と比較すると、利用している学生はわずかに増加し、「ほとんど利用しない」が減少している。

学年別にみると、「ほとんど利用しない」学生は1年生 67.6%，2年生 76.5%，3年生 76.9%，専攻科生 50.0%と、2，3年生が最も図書館を利用していない。利用する学生ではいずれの学年も、「テスト前やレポート提出時」だけ利用している学生が多く、その割合も1年生 32.4%，2年生 21.6%，3年生 15.4%，専攻科生 37.5%であり1年生と専攻科生がやや高い。専攻科生に定期試験はないが専攻研究のため、図書館所蔵の専門書を参照する必要があると思われる。

図書館の利用頻度



[問 13] 1 日の平均勉強時間はどのくらいか選択してください。

1. ほとんどしない
2. 約 1 時間
3. 約 2 時間
4. 約 3 時間以上
5. 特に決まっていない

問 13 表 全学年の選択肢別割合 (%)

	ほとんどしない	約 1 時間	約 2 時間	約 3 時間以上	決まっていない	合計
前 回	15.38	35.38	15.38	5.00	28.85	100
今 回	29.73	32.97	12.43	3.78	21.08	100

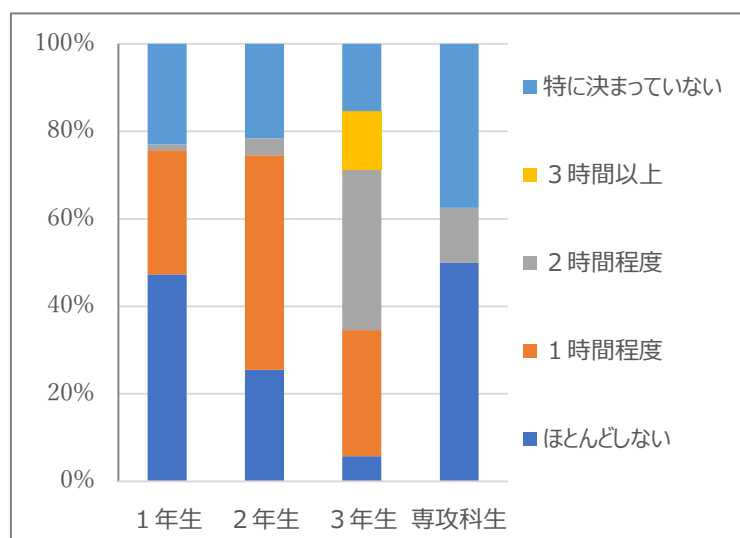
この設問では、1 日の平均勉強時間はどれくらいかについて回答を求めた。

全体としてみると、勉強時間は「約 1 時間」と「ほとんどしない」で 6 割以上を占めている。次いで、「特に決まっていない」が 21.1%である。3 時間以上勉強する学生は 3.8%を占めている。一方、「ほとんどしない」が 29.7%である。「特に決まっていない」学生は試験前、レポート提出時などに勉強時間が増すのだと思われる。

前回と比較すると、「ほとんどしない」が約倍増加し、「約 1 時間」、「約 2 時間」、「約 3 時間以上」、「決まっていない」が減少した。毎日の勉強習慣が身につけていない学生が増加していると考えられる。

学年別にみると、「ほとんどしない」学生の割合は、1 年生で 47.3%、2 年生で 25.5%、3 年生 5.8%で学年が上がるに従い減少しているが、専攻科生は 50%と最も多い。

1 日の平均勉強時間



[問 14]学内に学生相談室が開設されているのを知っていますか。

1. 知っている
2. 知らない

問 14 表 全学年の選択肢別割合（％）

	知っている	知らない	合計
前 回	18.08	81.92	100
今 回	18.92	81.08	100

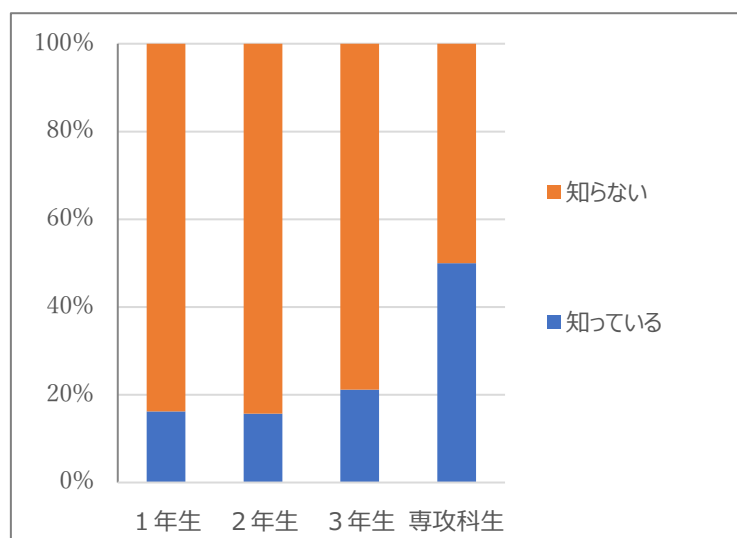
この設問では、学生相談室が開設されていることを知っているかについて回答を求めた。

学生相談室が開設されていることを「知っている」学生は約 2 割、「知らない」学生が約 8 割であった。学生相談室についての周知方法を検討する必要がある。

前回と比較しても同様の傾向である。

学年別にみると、「知っている」学生は、1 年生で 16.2%、2 年生で 15.7%と少ないが、3 年生では 21.2%、専攻科生では 50.0%と学年が上がるにつれて増加傾向にある。

学生相談室の認知度



[問 15]学生相談室の利用状況について選択してください。

1. 利用したことがあり、これからも機会があれば利用したい
2. 利用したことがあるが、これからは利用したくない
3. 利用したいが、行きにくい
4. 利用したことはないが、必要があれば利用したい
5. 利用したことがなく、今後も利用しないと思う

問 15 表 全学年の選択肢別割合（％）

	利用したことが あり、これから も利用したい	利用したことが あるが、これか らは利用したく ない	利用したいが、 行きにくい	利用したことは ないが、必要が あれば利用した い	利用したことが なく、今後も利 用しないと思う	合計
前 回	1.15	0.00	1.15	45.38	52.31	100
今 回	0.54	0.00	1.08	52.97	45.41	100

この設問では、学生相談室の利用状況について回答を求めた。

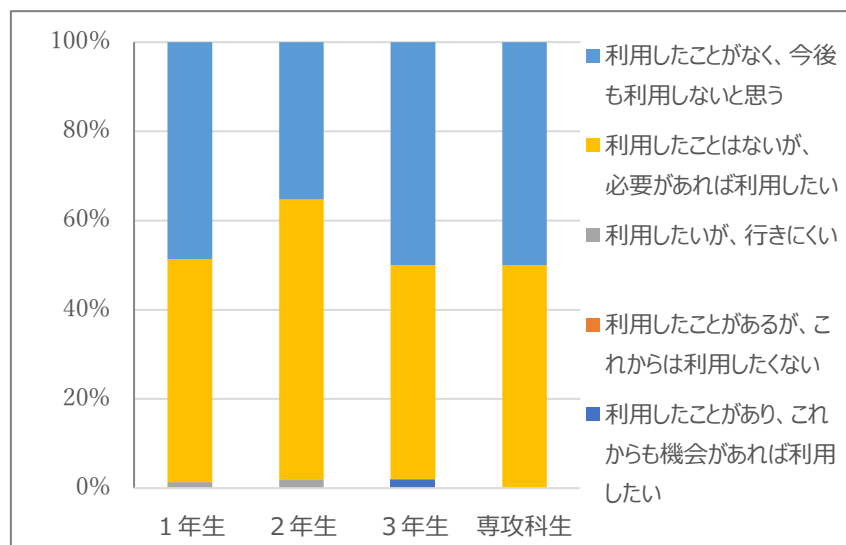
全体としてみると、[問 14] で「知っている」と回答した学生が 18.9%いたのに対し、実際に利用したことがある学生は約 0.5%に過ぎない。また、「利用したことはないが、必要があれば利用したい」学生は 53.0%いる。一方で、「利用したことがなく、今後も利用しないと思う」学生も 45.4%と約半数いて、およそ半半に分かれている。

前回と比較すると、「利用したことはないが、必要があれば利用したい」学生が増加し、「利用したことがなく、今後も利用しないと思う」学生が減少している。

このように、学生相談室は「利用したことがなく、今後も利用しないと思う」学生が 45%以上いる。学生には、学生相談室が「気軽に行けるところ」、「個人のプライバシーが確実に守られるところ」、「様々な種類の相談が出来るところ」などであることを周知させる必要があると考えられる。

学年別にみると、「利用したことがあり、これからも利用したい」学生は、1～3 年生および専攻科生ともに殆どいない。

学生相談室の利用状況



[問 16]次の中から悩んでいることを選択してください。(複数回答可)

1. 勉学の問題
2. 就職等、将来の進路の問題
3. 対人・異性関係の問題
4. 家庭内の問題
5. 性格・能力の問題
6. 経済上の問題
7. 思想・生き方の問題
8. 健康の問題
9. その他
10. 特にない

問 16 表 全学年の選択肢別割合 (%)

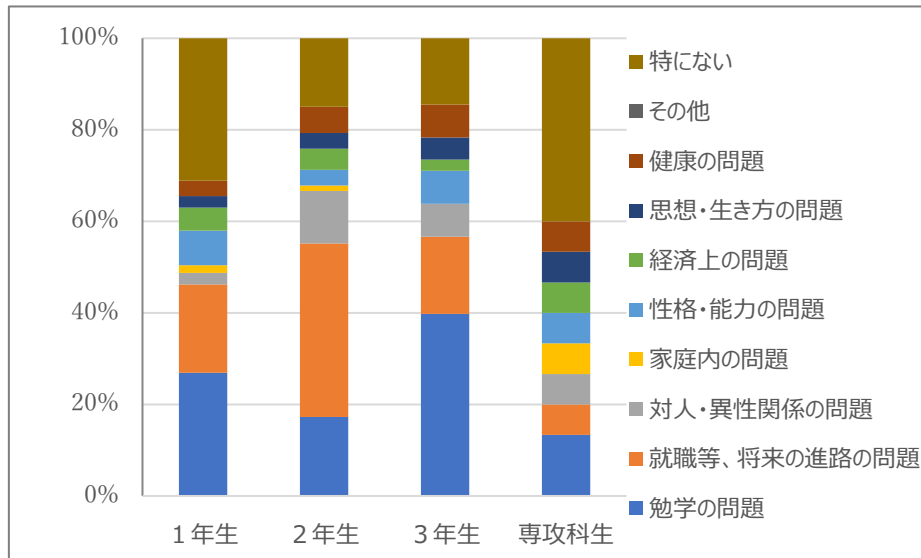
	勉学の問題	就職等将来の進路の問題	対人・異性関係の問題	家庭内の問題	性格・能力の問題
前 回	49.23	34.62	12.69	0.77	14.62
今 回	44.32	38.38	10.81	2.16	10.27
	経済上の問題	思想・生き方の問題	健康の問題	その他	特にない
前 回	6.54	7.69	5.38	0.38	33.46
今 回	7.03	5.95	8.65	0.00	36.76

この設問では、現在どのようなことを悩んでいるかについて回答を求めた。複数回答が可能であり、選択肢数は1年生 119、2年生 87、3年生 83、専攻科生 15、合計 304 である。図は各学年における総回答者数に対する割合を示す。

全体としては、悩んでいることが「特にない」学生が 36.8%いる。悩み事で多いのは「勉学の問題」および「就職等将来の進路の問題」である。次いで「対人・異性関係の問題」、「性格・能力の問題」が続き、他の項目は 10%以下である。前回と比較すると、「特にない」学生の割合がやや増加している。悩み事の順位は、前回とほぼ同一である。

学年別にみると、悩み事が「特にない」学生は1年生 31.1%、2年生 14.9%、3年生 14.4%、専攻科 40.0%であり、2、3年生で悩みが少なくなっている。とくに、「勉学の問題」に悩む学生は、1年生 26.9%、2年生 17.2%、3年生 39.8%、専攻科 13.3%である。勉学に悩む学生はどの学年にもいるが、特に国家試験を控えている3年生が多くなっている。一方、専攻科生には勉学に悩む学生は少ない。これは、国家試験から開放されたことや、元々、勉学に悩むことのない学生が専攻科に進学していることによるのかも知れない。「就職等将来の進路の問題」に悩む学生は、1年生 19.3%、2年生 37.9%、3年生 16.9%、専攻科 6.7%と、特に2年生に多いが、3年生で減少し、専攻科生は少ない。1年生、2年生にはまだ歯科衛生士としての将来が鮮明ではないのに対し、3年生では迷うことのない明確な目標になって、さらに専攻科では学生であると同時に歯科衛生士として明確なビジョンを持っているためかもしれない。

現在の悩んでいること



[問 17]誰に悩み事の相談をするか選択してください。(複数回答可)

1. 家族（身内）に相談する
2. 学内の友人に相談する
3. 学外の友人に相談する
4. クラブ・サークルの先輩に相談する
5. 教員に相談する
6. 事務職員に相談する
7. 学生相談室のカウンセラーに相談する
8. 学外の医師、カウンセラー等に相談する
9. 適切な相談相手がいない
10. その他

問 17 表 全学年の選択肢別割合 (%)

	家族	学内の友人	学外の友人	クラブ・サークルの先輩	教員	事務職員	学生相談室のカウンセラー	学外の医師・カウンセラー	適切な相談相手がいない	その他
前 回	72.69	66.54	70.00	1.54	4.62	0.00	0.77	0.38	4.23	2.31
今 回	78.38	75.14	73.51	1.08	5.00	4.86	2.70	0.54	1.62	0.54

この設問では、誰に悩み事の相談をするかについて回答を求めた。複数回答が可能であり、のべ回答者数は1年生 184、2年生 111、3年生 132、専攻科 20、合計 447 である。図は各学年における総選択肢数に対する割合を示す。

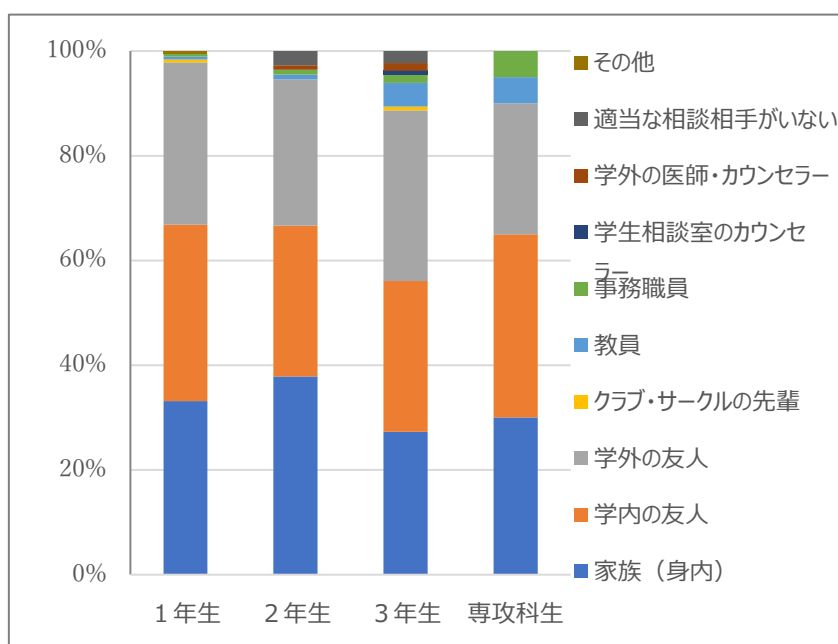
全体としては、相談する相手は、「家族（身内）」、「学内の友人」、「学外の友人」が最も多く、7 割以上を

占めている。即ち、相談相手は複数に及んでいる。その他の相談相手は何れも 5%以下で、「学生相談室」に相談する学生は 2.70%で、また、「適切な相談相手がない」学生も 1.62%いる。

前回と比較すると、概ね「家族」と「友人」が相談相手である傾向は変わらないと思われる。また、「教員」、「事務職員」に相談する学生は少ないながら増加している。

学年別にみると、「家族に相談する」学生は、1 年生 33.2%、2 年生 37.8%、3 年生 27.3%、専攻科生 30.0%で、何れの学年も約 3 割を占めている。また「学内の友人」、「学外の友人」もほぼ同程度の割合を示す。一方、「適当な相談相手がない」学生は僅かであるが、2 年生 2.7%、3 年生 2.3%いる。

悩み事の相談相手



[問 18]誰（どこ）に大学や学習に関する疑問、不満、要望を相談するか選択してください。（複数回答可）

1. 短期大学部事務室窓口
2. 学生相談室
3. 教員
4. 友人
5. 家族等
6. その他
7. どこ（誰）にも話さない
8. 疑問、不満、要望などはない

問 18 表 全学年の選択肢別割合（％）

	事務室	学生相談室	教員	友人	家族など	その他	どこにも話さない	疑問などはない
前 回	12.69	0.38	20.77	75.00	46.92	0.00	5.38	6.92
今 回	18.92	1.08	25.41	73.51	48.11	0.00	3.78	9.73

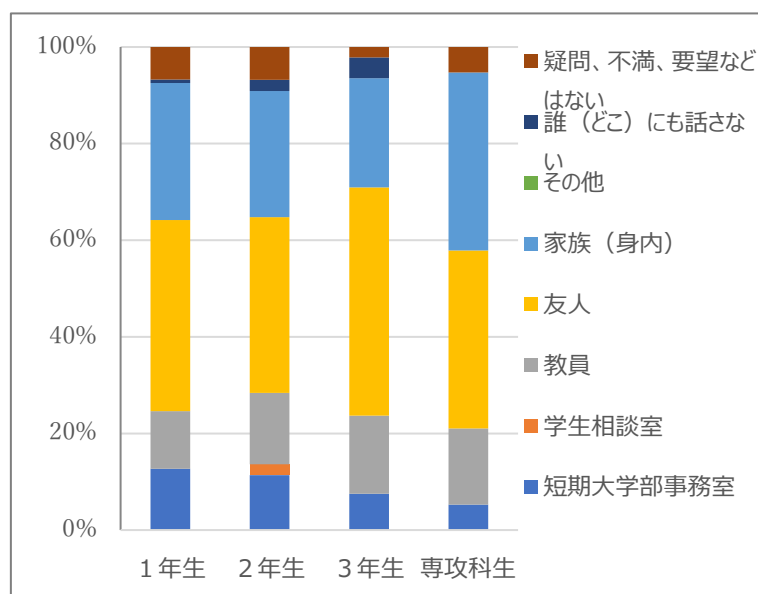
この設問では、大学や学習に関する疑問、不満、要望など（疑問等）をどこ（誰）に相談するかについて回答を求めた。複数回答が可能であり、選択肢数は1年生134、2年生88、3年生93、専攻科生19、合計334である。図は各学年における総選択肢数に対する割合を示す。

全体としては、「疑問等はない」学生は9.73%であり、ほとんどの学生が大学や学習に対して何らかの疑問等をもっている。疑問等に関して相談する相手で最も多いのは「友人」で73.5%、次いで「家族など」48.1%、「教員」25.4%、「短期大学部事務室」18.9%の順である。一方、疑問等をもっている「どこ（誰）にも話さない」学生が3.8%いる。

前回と比較すると、相談相手では、「事務室」、「学生相談室」、「教員」、「家族など」が増加し、「友人」、「どこ（誰）にも話さない」が減少している。

学年別にみると、「疑問等はない」学生は1年生6.7%、2年生6.8%、3年生2.2%、専攻科生5.3%であり、ほとんどの学生が大学や学習に対して疑問等をもっている。相談相手として「友人」を選択した学生は、1年生39.6%、2年生36.4%、3年生47.3%、専攻科生36.8%で、「家族など」は、1年生28.4%、2年生26.1%、3年生22.6%、専攻科生36.8%で、どの学年も友人と家族の割合が多い。相談相手に「教員」を選択した学生の割合は、1年生11.9%、2年生14.8%、3年生16.1%、専攻科生15.8%で、「短期大学部事務室」の割合は、1年生12.7%、2年生11.4%、3年生7.5%、専攻科生5.2%である。大学や学習に関する疑問等に関する相談相手として、教員や事務室をもっと利用してほしい、一方、疑問等があっても「どこ（誰）にも話さない」学生は、1年生0.7%、2年生2.3%、3年生4.3%、専攻科生0.0%であった。

大学・学習に対する疑問の相談相手



[問 19]次の中から短期大学部の教育で要望したいことは何か選択してください。(複数回答可)

1. 専門教育を充実させてほしい
2. 教養教育を充実させてほしい
3. キャリア教育（就職活動）を充実させてほしい
4. 科目選択の幅を増やしてほしい
5. コンピューター教育を充実させてほしい
6. その他
7. 特に要望はない

問 19 表 全学年の選択肢別割合（％）

	専門教育の 充実	教養教育の 充実	キャリア教 育の充実	科目選択の 幅	コンピュー ター教育 の充実	その他	特に要望 はない
前 回	23.08	8.85	12.31	6.92	8.85	2.69	61.54
今 回	20.54	8.65	17.30	11.35	14.05	2.16	58.38

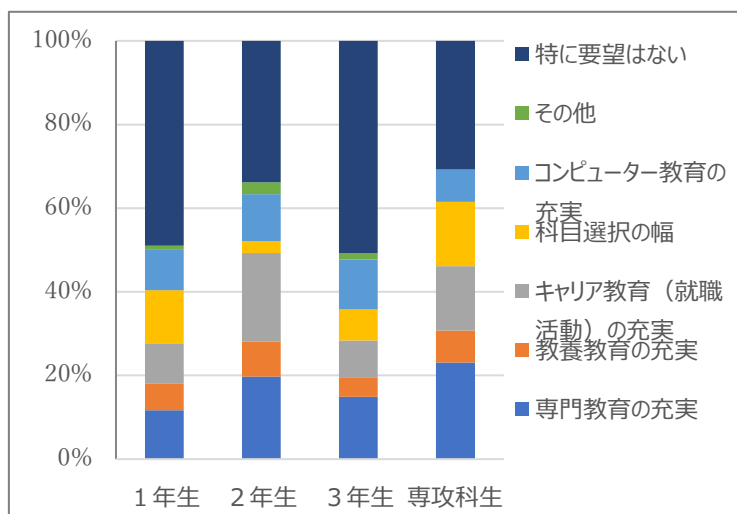
この設問は、本学科の教育で特に要望したいことについて回答を求めた。複数回答が可能であり、のべ回答者数は1年生 94、2年生 71、3年生 67、専攻科生 13、合計 245 である。図は各学年における総回答者数に対する割合を示す。

全体としてみると、「特に要望はない」学生が 6 割弱いる。要望としては「専門教育を充実してほしい」が最も多く、20.5％を占めている。次いで「キャリア教育（就職活動）を充実してほしい」が 17.3％、「コンピューター教育を充実してほしい」が 14.1％、「科目選択の幅を増やしてほしい」が 11.4％と続く。

前回と比較すると「専門教育の充実」がやや減少し、「キャリア教育」、「科目選択の幅」、「コンピューター教育」が増加している。

学年別に比較すると、「特に要望はない」学生は、1年生 48.9％、2年生 33.8％、3年生 40.7％、専攻科生 30.8％である。「専門教育を充実してほしい」学生は、1年生 11.7％、2年生 19.7％、3年生 14.9％、専攻科生 23.1％で、2年生と専攻科生に多い。臨床実習中の2年生と歯科衛生士資格をもつ専攻科の学生が専門教育の充実を望むことは当然でもある。

教育についての要望



[問 20] クラブ・サークルの所属について選択してください。

1. 学内の運動部に所属している
2. 学内の文化部に所属している
3. 学内の未公認サークルに所属している
4. 学外のサークルに所属している
5. 所属していない

問 20 表 全学年の選択肢別割合 (%)

	学内運動部	学内文化部	学内未公認サ ークル	学外サークル	所属していな い	合計
前 回	4.23	4.62	0.38	2.31	88.46	100
今 回	5.41	2.70	0.00	1.62	90.27	100

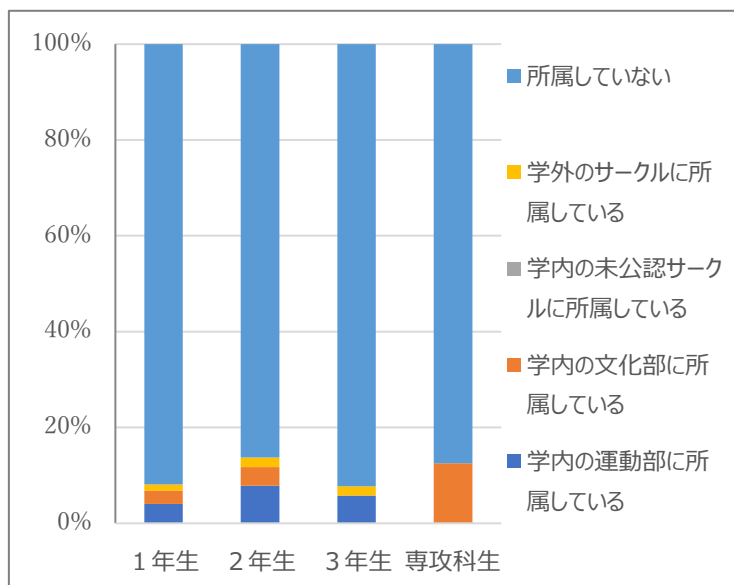
この設問では、いずれかのクラブ・サークルに所属しているかについて回答を求めた。

全体としては、「所属していない」学生が、所属している学生より圧倒的に多く、約 9 割の学生はクラブ・サークルに所属していない。比較的多い「学内運動部」でさえ、約 5%である。

前回と比較すると、「学内運動部」、「所属していない」学生が増加した。

学年別にみると、いずれの学年も「所属していない」が圧倒的に多いが、その割合は、1 年生 91.9%、2 年生 86.3%、3 年生 92.3%、専攻科生 87.5%である。大部分の学生がクラブ・サークルに所属していない理由として、2、3 年生は、2020、2021 年度はコロナ禍にあって登校できない期間があったことや、1 年生は、2022 年度から対面授業が始まったが感染の危険性を考慮したことが考えられる。

クラブ・サークルの所属状況



4. 学外活動

[問 21] アルバイトの経験はありますか。

1. 経験がある
2. 経験がない

問 21 表 全学年の選択肢別割合 (%)

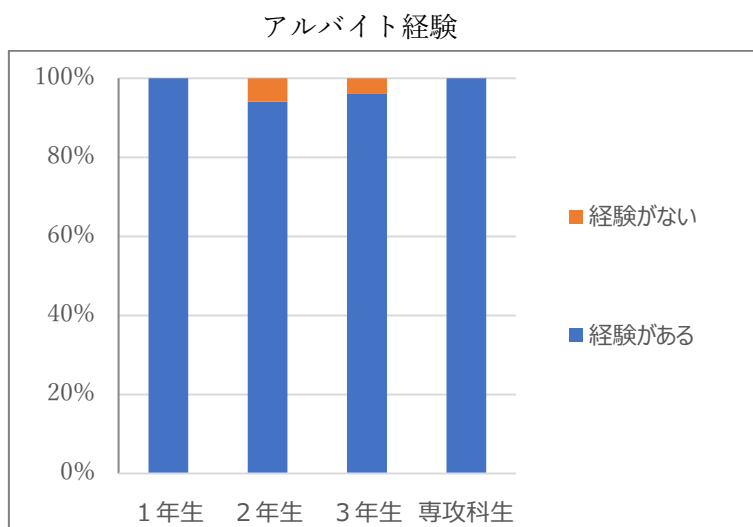
	経験がある	経験がない	合計
前 回	96.15	3.85	100
今 回	97.30	2.70	100

この設問では、アルバイト経験の有無について回答を求めた。

全体としては、アルバイトの「経験がある」学生が 97.3% と圧倒的に多数である。

前回と比較すると、「アルバイト経験がある」学生の割合はやや増加している。

学年別にみると、「経験がある」学生は、1 年生 100.0%、2 年生 94.1%、3 年生 96.2%、専攻科生 100.0% で 2 年生がやや少ない。



[問 22]現在、アルバイトの1週間あたりの平均勤務時間を選択してください。

1. 5 時間未満
2. 5 時間以上 10 時間未満
3. 10 時間以上 20 時間未満
4. 20 時間以上 30 時間未満
5. 30 時間以上
6. 現在アルバイトはしていない

[問 22] ～ [問 25] は、アルバイト経験がある 1 年生 74 名、2 年生 48 名、3 年生 50 名、専攻科 8 名、全学年 180 名が対象である。

問 22 表 全学年の選択肢別割合 (%)

	5 時間未満	5 時間以上 10 時間未満	10 時間以上 20 時間未満	20 時間以上 30 時間未満	30 時間以上	現在アルバ イトはして いない	合計
前 回	11.20	41.20	26.00	4.00	0.40	17.20	100
今 回	11.67	28.33	37.78	11.67	1.11	9.44	100

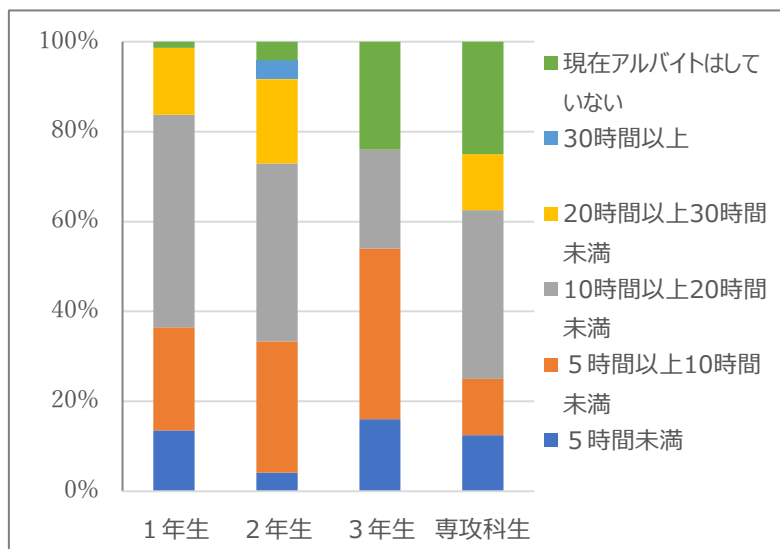
この設問では、1 週間あたりの勤務時間について回答を求めた。

全体としては、週「10 時間以上 20 時間未満」の学生が最も多く、「5 時間以上 10 時間未満」の順である。次いで、「5 時間未満」と「20 時間以上 30 時間未満」の 11.7%で、「30 時間以上」も 1.1%いる。また、「現在はしていない」学生も 9.44%いる。

前回と比較して、「10 時間以上 20 時間未満」、「20 時間以上 30 時間未満」、「30 時間以上」が増加している。特に「20 時間以上 30 時間未満」、「30 時間以上」の増加が著しく、コロナ禍であったため、家庭の経済状況の影響があるのかもしれない。

学年別では、「現在はしていない」が 3 年生が 23.1%と多く、国家試験勉強を優先していると思われる。

週あたりのアルバイト勤務時間



[問 23]月あたりの平均アルバイトの収入を選択してください。

1. 3万円未満
2. 3万円以上5万円未満
3. 5万円以上7万円未満
4. 7万円以上10万円未満
5. 10万円以上

問 23 表 全学年の選択肢別割合 (%)

	3万円未満	3万円以上5万円未満	5万円以上7万円未満	7万円以上10万円未満	10万円以上	合計
前 回	21.74	39.13	24.64	13.04	1.45	100
今 回	10.43	41.10	30.67	17.18	0.61	100

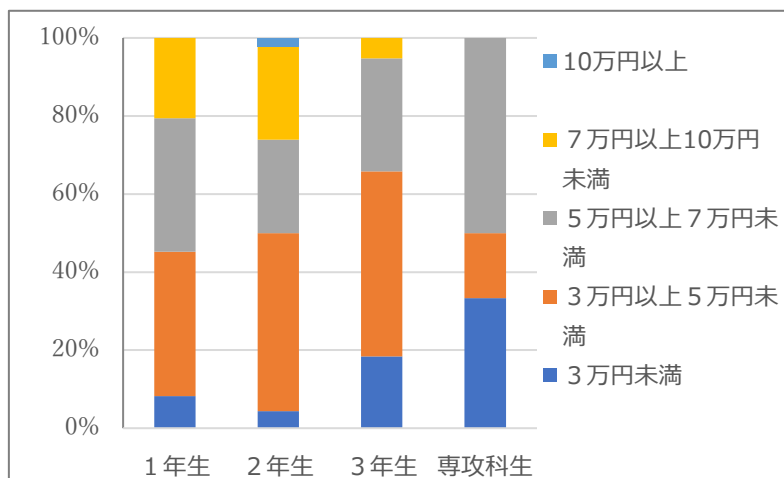
この設問では、1ヶ月あたりのアルバイトの平均収入について回答を求めた。

全体としては、「3万円以上5万円未満」の学生が最も多く、次いで「5万円以上7万円未満」、「7万円以上10万円未満」で、全体の89.0%を占める。また、「10万円以上」も0.61%いる。

前回と比べ、アルバイトの月収は高額となる傾向を示している。

学年別にみると、「3万円以上5万円未満」の学生は1年生36.5%、2年生41.2%、3年生34.6%、専攻科生12.5%である。一方、「7万円以上」の学生は1年生20.3%、2年生23.5%、3年生3.8%、専攻科生0.0%と1、2年生に多い。

アルバイトの平均月収



[問 24]次の中からアルバイトの職種を選択してください。(複数回答可)

1. 歯科医院
2. 飲食・フード
3. 販売・接客・サービス
4. 教育
5. レジャー・エンタメ
6. 営業・事務
7. 物流・配送
8. IT・コンピューター
9. その他

問 24 表 全学年の選択肢別割合 (%)

	歯科医院	飲食・フ ード	販売・接客・ サービス	教育	レジャ ー・エ ンタメ	営業・事 務	物流・配 送	IT・コン ピュータ ー	その他
前 回	28.99	58.45	32.85	3.38	2.42	0.48	0.00	0.48	1.93
今 回	28.22	63.80	38.65	3.68	3.68	0.61	0.00	0.00	11.89

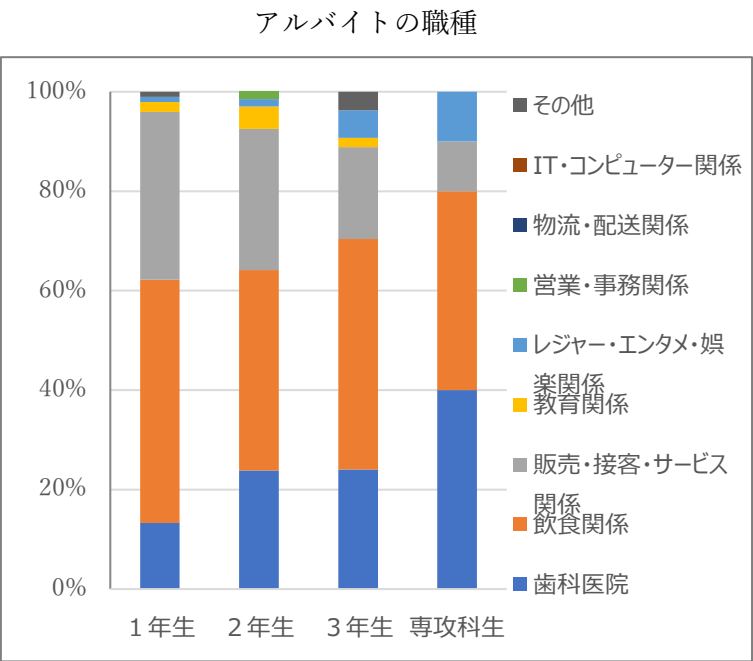
この設問では、アルバイトの職種について回答を求めた。複数回答が可能であり、のべ回答者数は1年生 99、2年生 72、3年生 68、専攻科 12 の合計 251 である。図は各学年における総回答者数に対する割合を示す。

全体としては、「飲食・フード」の学生が最も多く、次いで、「販売・接客・サービス」、「歯科医院」の順である。他の職種はいずれも 5 % 以下である。

前回と比較しても、傾向は殆ど変わらない。

学年別にみると、いずれの学年も「飲食・フード」の学生が最も多く、その割合は1年生 48.5%、2年生

37.5%，3年生 36.8%，専攻科 33.3%で1年生が多い。それに対して、「歯科医院」でアルバイトをする学生は、1年生 13.1%，2年生 22.2%，3年生 19.1%，専攻科 33.3%で、1年生が少ない。



[問 25]次の中からアルバイト収入の使途を選択してください。(複数回答可)

1. 学費（授業料等）
2. 勉学費（教科書、書籍、文具等）
3. 通学交通費（定期代）、免許取得費、自動車・バイク等購入維持費
4. クラブ・サークル活動費
5. 生活費（食住費）
6. 趣味、被服、娯楽
7. 貯金
8. その他

問 25 表 全学年の選択肢別割合（％）

	学費	勉学費	通学交通 費等	クラブ・ サークル 費	生活費	趣味等	貯金	その他
前 回	5.80	12.08	23.19	1.93	21.26	94.20	66.18	0.48
今 回	6.13	10.43	15.95	2.45	25.15	97.55	66.26	0.00

この設問では、アルバイト収入の主な使いみちについて回答を求めた。複数回答が可能であり、総回答数は1年生 161，2年生 114，3年生 99，専攻科 13，合計 387 である。図は各学年における総回答者数に

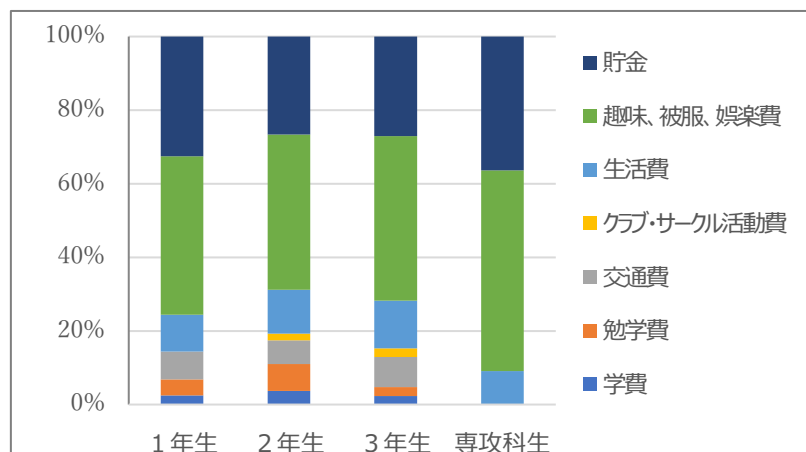
対する割合を示す。

全体としては、「趣味、被服、娯楽」に使う学生が 97.6%と圧倒的に多く、次いで、「貯金」66.3%、「生活費（食住費）」25.2%、「通学交通費等」16.0%、の順である。また、「勉学費」や「学費」に使う学生も、10.4%と 6.1%いる。

前回と同様に、「趣味、被服、娯楽」に相当する使途が圧倒的に多い。一方、「学費」、「クラブ・サークル活動費」、「生活費」、「貯金」に使う学生は増加している。

学年別にみると、「趣味、被服、娯楽」への使途が 1 年生 42.9%、2 年生 40.4%、3 年生 38.4%、専攻科生 46.2%で、専攻科で高い。「貯金」は、1 年生 32.3%、2 年生 25.4%、3 年生 23.2%、専攻科 30.8%で、1 年生、専攻科に多く、学年が上がるに従って少なくなる。

アルバイト収入の使途



[問 26]次の中から授業終了後の行動について選択してください。(複数回答可)

1. まっすぐ家に帰る
2. 友人と遊ぶ
3. 学内で勉強する
4. クラブ・サークル活動をする
5. 教室、学食、マグネットラウンジ等で過ごす
6. アルバイトに行く
7. 学外の各種学校に行く（資格取得等）
8. その他

問 26 表 全学年の選択肢別割合（％）

	まっすぐ 家に帰る	友人と遊ぶ	学内で勉 強する	クラブ・ サークル	教室、学食、マ グネットラ ウンジ等	アルバイ ト	学外の 各種学校	その他
前 回	91.15	46.54	0.38	3.46	6.92	53.08	0.38	1.92
今 回	88.11	58.38	0.00	4.32	7.03	64.86	0.54	3.24

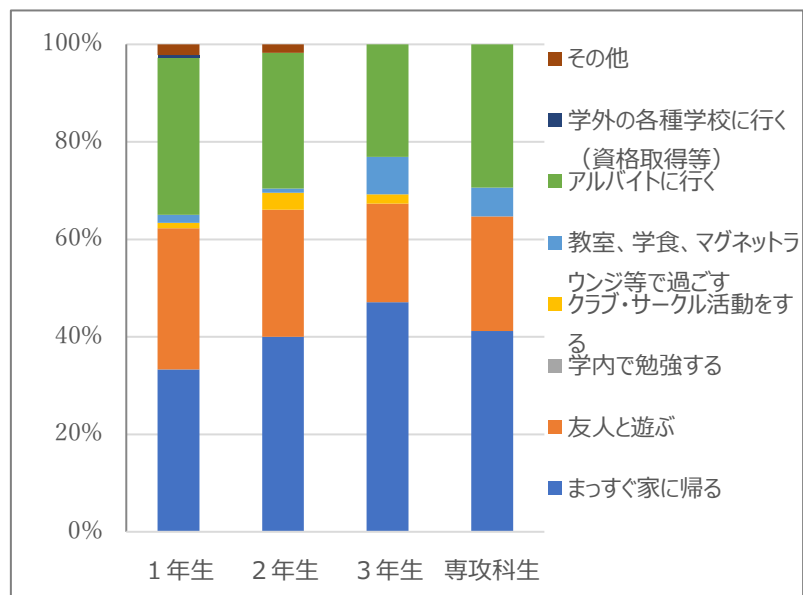
この設問では、授業終了後はどのように過ごしているかについて回答を求めた。

全体としては、「まっすぐ家に帰る」が9割弱で最も多く、次いで「アルバイトに行く」、「友人と遊ぶ」の順である。また、学内の「教室、学食、マグネットラウンジ等で過ごす」学生も7.0%いる。まっすぐ帰る日もあれば、アルバイトに行く日や友達と遊ぶ日、学内で過ごしてから帰る日もあるということである。

前回と比較すると、「まっすぐ家に帰る」と「学内で勉強する」以外の項目が増加している。

学年別にみると、「まっすぐ家に帰る」学生は1年生で33.3％、2年生で40.0％、3年生47.1％、専攻科生で41.2％と専攻科生を除くと学年が上がるに従って多くなる。一方、「アルバイトに行く」学生は1年生で32.2％、2年生で27.8％、3年生23.1％、専攻科29.4％と学年が上がるに従って少なくなる傾向がある。「友人と遊ぶ」学生には、学年による違いはあまり認められない。

授業終了後の行動



5. 進路・満足度

[問 27]卒業後の進路について選択してください。

1. 歯科衛生士として就職
2. 歯科衛生士以外の職業に就職
3. 進学
4. 海外留学する
5. まだわからない
6. その他

問 27 表 全学年の選択肢別割合 (%)

	歯科衛生士として 就職	歯科衛生士以 外に就職	進学	海外留学する	まだわからない	その他	合計
前 回	87.31	0.38	6.15	0.00	5.77	0.38	100
今 回	86.49	0.54	4.32	0.00	8.65	0.00	100

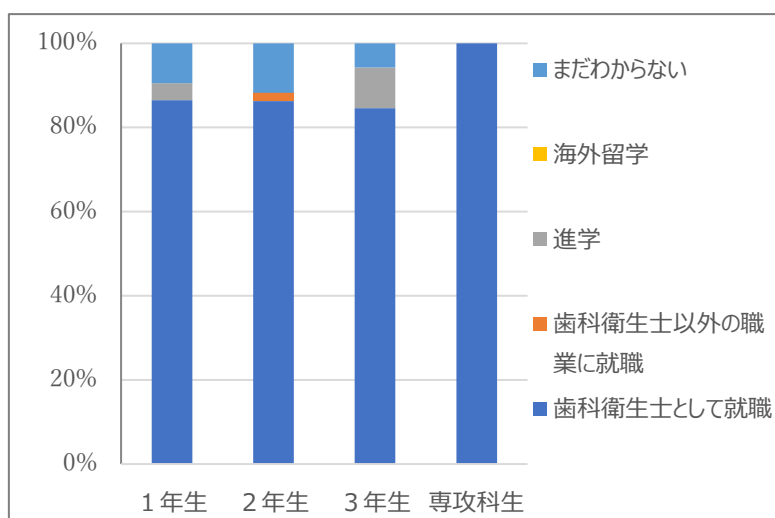
この設問では、卒業後の進路予定について回答を求めた。

全体としては、「歯科衛生士として就職」と解答した学生が 86.5%と最も多い。次いで「まだわからない」学生が 8.7%である。

前回と比較すると、大多数は「歯科衛生士として就職」で同じであるが、続いて「まだわからない」、「進学」の順となり、順番が入れ替わっている。

学年別に比較すると、いずれの学年も「歯科衛生士として就職」の学生が圧倒的に多いが、その割合は 1 年生 86.5%、2 年生 86.3%、3 年生 84.6%、専攻科生 100.0%で各学年ともほぼ同じであった。「進学」は 1 年生 4.1%、2 年生 0.0%、3 年生 9.6%と 3 年生の割合が高い。一方、「まだわからない」は 1 年生 9.5%、2 年生 11.8%、3 年生 5.8%で、3 年生になると、進路が明確になってくるようである。

卒業後の進路



[問 28] 学生生活の充実度について選択してください。

1. 充実している
2. 充実していない
3. どちらも言えない

問 28 表 全学年の選択肢別割合 (%)

	充実している	充実していない	どちらも言えない	合計
前 回	70.00	3.08	26.92	100
今 回	78.38	2.16	19.46	100

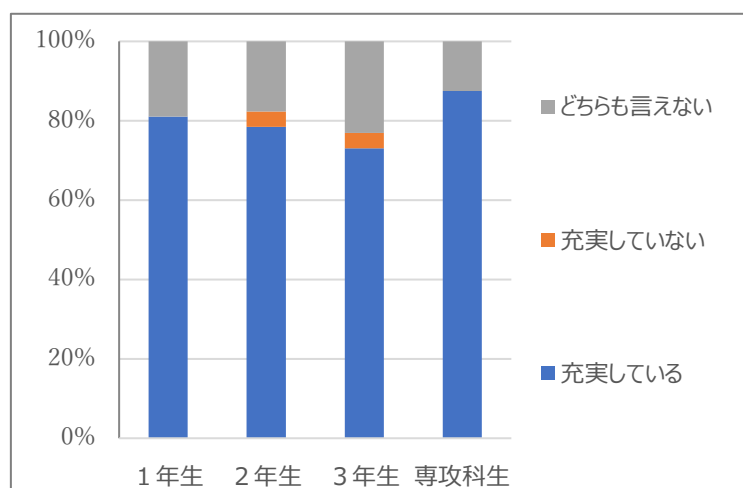
この設問では、学生生活の充実度について回答を求めた。

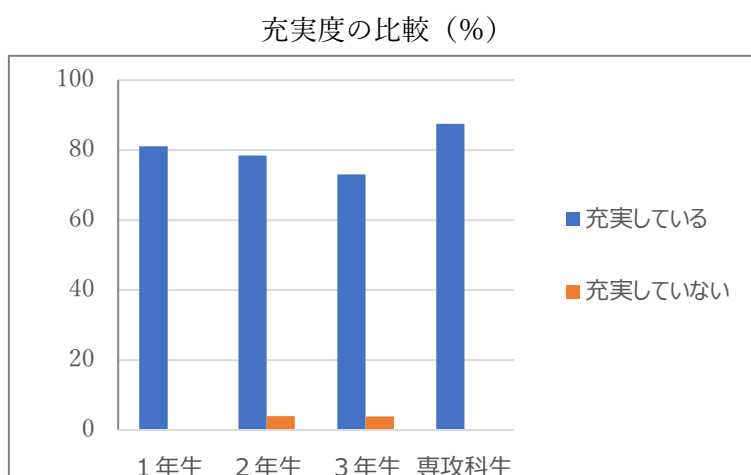
全体としては、「充実している」と答えた学生が 78.4%と約 8 割で、「充実していない」と答えた 2.2%を大きく上回っている。

前回と比較すると、「充実している」が増加し、「充実していない」、「わからない」が減少している。

学年別に見ると、「充実している」学生は、1 年生 81.1%、2 年生 78.4%、3 年生 73.1%、専攻科生 87.5%で、学年が上がるに従い減少しているが、専攻科生では極めて高い満足度を示している。逆に、「充実していない」学生は、1 年生と専攻科生では 0.0%であるが、2 年生で 3.9%、3 年生で 3.8%であった。

学生生活の充実度





[問 29]学科の内容全体に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

問 29 表 全学年の選択肢別割合 (%)

	満足	ほぼ満足	特に不満はない	少し不満	不満	合計
前 回	27.69	35.38	31.54	4.23	1.15	100
今 回	37.84	31.89	26.49	3.78	0.00	100

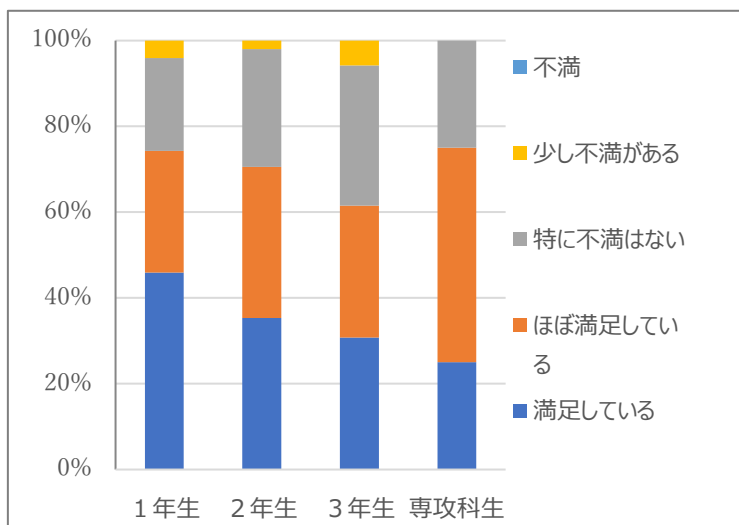
この設問では、歯科衛生学科の内容全体の満足度について回答を求めた。

全体としては、「満足している」学生が最も多く、次いで、「ほぼ満足している」、「特に不満はない」、
「少し不満がある」の順であり、「不満だ」は皆無であった。

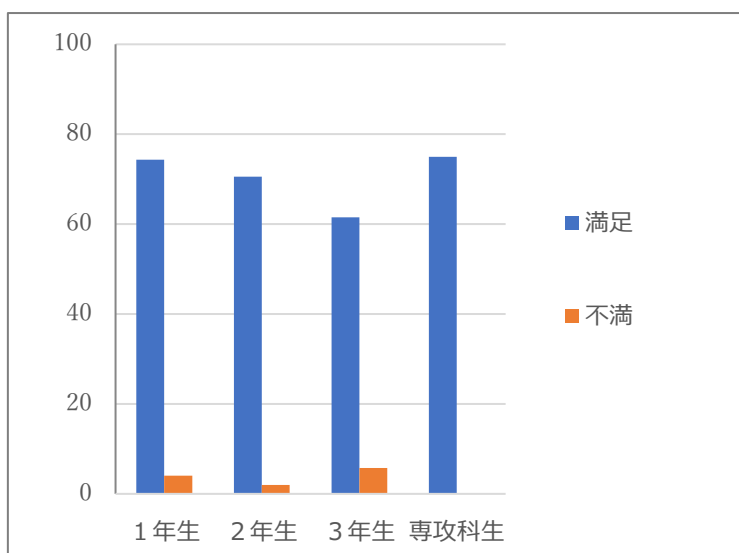
前回と比較すると、「満足」が増加し、「満足」と「ほぼ満足」を合計すると70%となり、満足度は上がっている。

学年別に見ると、「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」が、1年生で74.3%、2年生で70.6%、3年生で61.5%、専攻科生で75.0%であり、各学年で高い満足度を得ている。

学科の内容全体の満足度



満足度の比較 (%)



[問 30]開講されている科目の種類や内容に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

問 30 表 全学年の選択肢別割合（％）

	満足	ほぼ満足	特に不満はない	少し不満	不満	合計
前 回	30.38	33.46	32.31	3.85	0.00	100
今 回	40.54	28.65	27.57	3.24	0.00	100

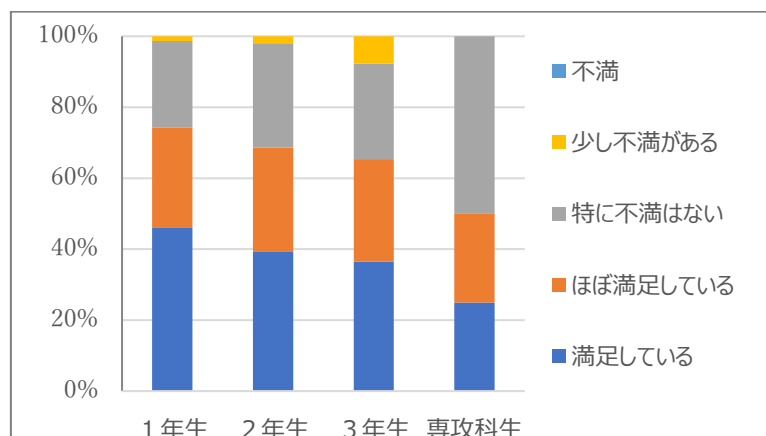
この設問では、開講されている科目の種類や内容の満足度について回答を求めた。

全体としては、「満足している」学生が 4 割、「ほぼ満足している」、「とくに不満はない」学生がそれぞれ 3 割弱で、「少し不満がある」が僅かにあるに過ぎない。

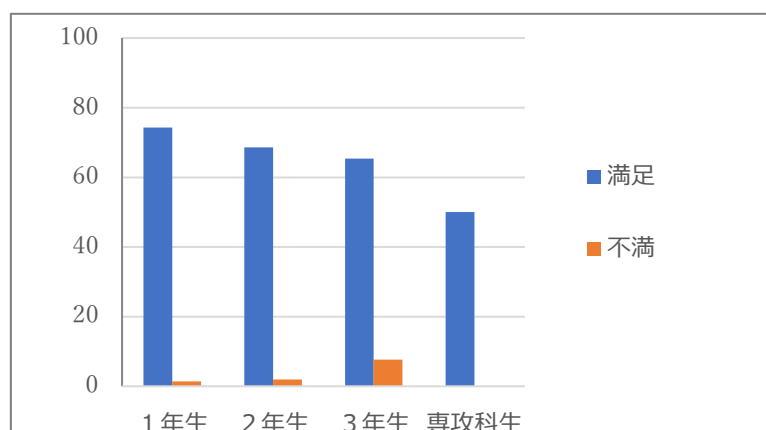
前回と比較すると、「満足している」が約 10% 増加し、その分「ほぼ満足」、「特に不満はない」学生が減少している。

学年別にみると、「満足している」学生の割合は 1 年生 45.9%、2 年生 39.2%、3 年生 36.5%、専攻科生 25.0% と専攻科生の割合が低い。「ほぼ満足」の割合は 1 年生 28.4%、2 年生 29.4%、3 年生 28.8%、専攻科生 25.0% で、やはり専攻科が低い。「満足している」と「ほぼ満足」を加えた「満足」は、1 年生 74.3%、2 年生 68.6%、3 年生 65.4%、専攻科 50.0% である。一方、「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」の割合は、1 年生 1.4%、2 年生 2.0%、3 年生では 7.7%、専攻科生 0.0% で、3 年生で高い。

科目の種類・内容についての満足度



満足度の比較（％）



[問 31]時間割編成に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

問 31 表 全学年の選択肢別割合（％）

	満足	ほぼ満足	特に不満はない	少し不満	不満	合計
前 回	26.54	25.00	35.77	10.00	2.69	100
今 回	29.19	23.24	29.73	15.14	2.70	100

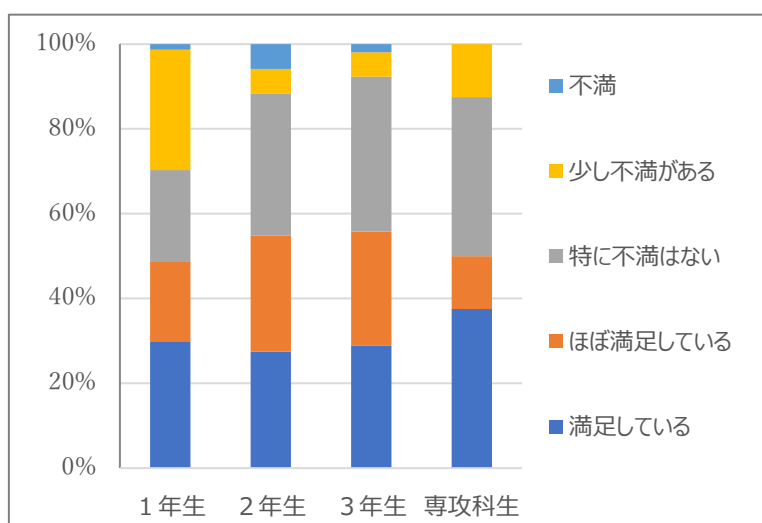
この設問では、時間割編成の満足度について回答を求めた。

全体としては、「特に不満はない」学生が最も多く、次いで、「満足している」、「ほぼ満足している」、「少し不満がある」の順であり、「不満だ」は最も少ない。「満足」と「ほぼ満足」を加えた「満足」の割合は52.4%で、「少し不満」と「不満」を加えた「不満」の17.8%より明らかに多い。

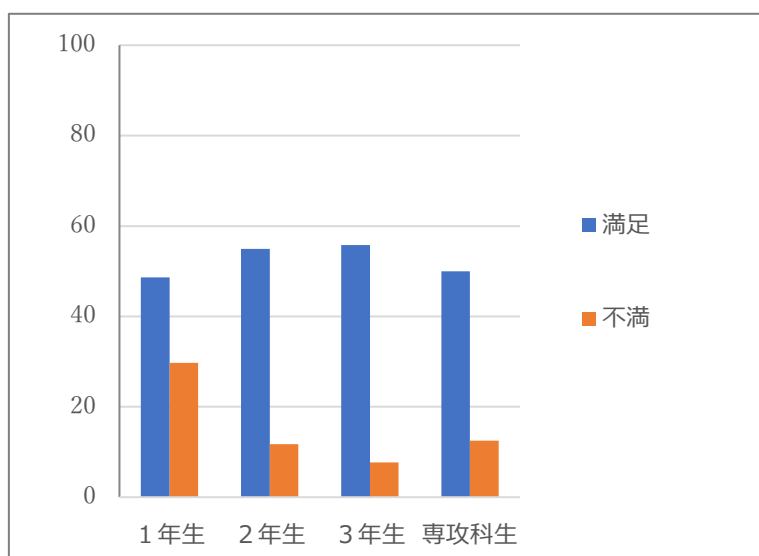
前回と比較すると、「特に不満はない」学生が最も多い点は変わらない。「満足」と「ほぼ満足」を加えた「満足」の割合は殆ど変わらないが、「少し不満」と「不満」を加えた「不満」の割合は増加している。

学年別に見ると、「満足している」学生の割合は、1年生29.7%、2年生27.5%、3年生28.8%、専攻科生37.5%、「ほぼ満足している」割合は、1年生18.9%、2年生27.5%、3年生26.9%、専攻科生12.5%である。それぞれを加えた「満足」の割合は1年生48.6%、2年生54.9%、3年生55.8%、専攻科生50.0%で、満足度は1年生がやや低い。一方、「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」の割合は1年生29.7%と多く、2年生11.8%、3年生7.7%、専攻科生12.5%で少ない。

時間割編成についての満足度



満足度の比較 (%)



[問 32]講義・実習の内容や方法に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

問 32 表 全学年の選択肢別割合 (%)

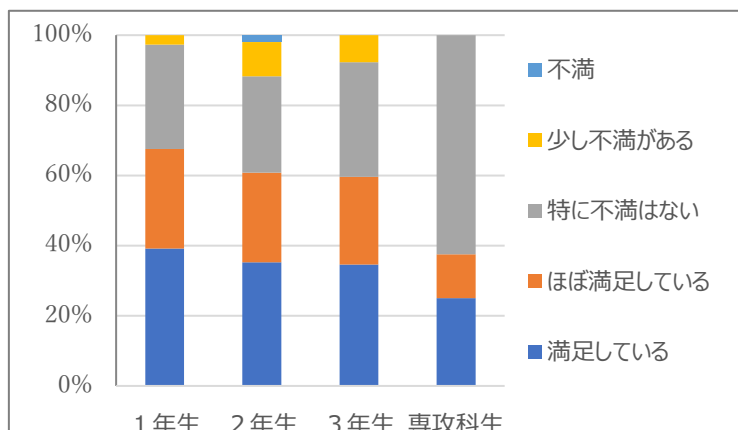
	満足	ほぼ満足	特に不満はない	少し不満	不満	合計
前 回	26.15	30.38	35.38	7.31	0.77	100
今 回	36.22	25.95	31.35	5.95	0.54	100

この設問では、講義・実習の内容や方法に関する満足度について回答を求めた。

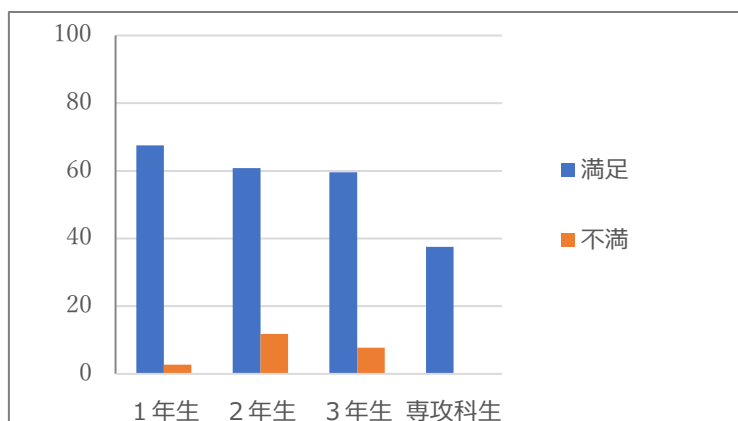
全体としては、「満足している」学生が最も多く、次いで「特に不満はない」、「ほぼ満足している」、「少し不満がある」の順であり、「不満だ」は最も少ない。「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」の割合は 62.2%で、「少し不満がある」と「不満だ」を加えた不満の割合 6.5%より遙かに多い。前回と比較すると、「満足」が増加し、「ほぼ満足」と「少し不満」がやや減少している。

学年別に見ると、「満足している」学生の割合は 1 年生 39.2%、2 年生 35.3%、3 年生 34.6%、専攻科生 25.0%、「ほぼ満足している」の割合は、1 年生 28.4%、2 年生 25.5%、3 年生 25.0%、専攻科生 12.5%である。「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」の割合は、1 年生から 3 年生は約 60%であるのに対し専攻科生の満足度はやや低い。一方、「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」の割合は 1 年生 2.7%、2 年生 11.8%、3 年生 7.7%、専攻科生が最も低く 0.0%である。

講義についての満足度



満足度の比較 (%)



[問 33]教育施設・設備（教室・実習室・図書館情報センター等）に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

問 33 表 全学年の選択肢別割合 (%)

	満足	ほぼ満足	特に不満はない	少し不満	不満	合計
前 回	30.38	23.85	39.62	4.23	1.92	100
今 回	41.08	22.16	34.59	2.16	0.00	100

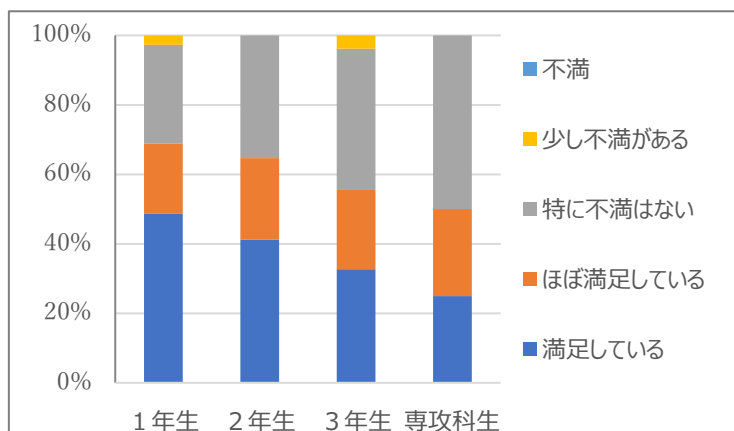
この設問では、教育施設・設備（教室・実習室・図書館情報センター等）の満足度について回答を求め

た。

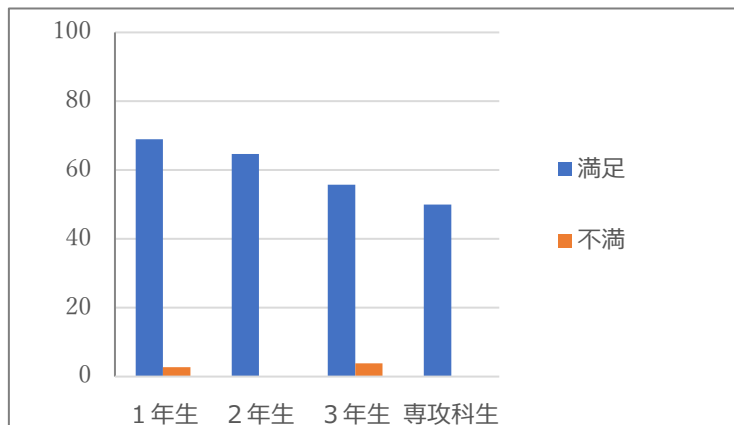
全体としては、「満足」と回答した学生が最も多く、次いで、「特に不満はない」、「ほぼ満足」、「少し不満」の順であり、「不満」と回答したものはなかった。「満足」と「ほぼ満足」を加えた「満足」している学生の割合 63.2%は、「少し不満」と「不満」を加えた「不満」2.2%より圧倒的に多い。

学年別に見ると、「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」の割合は1年生 68.9%、2年生 64.7%、3年生 55.8%、専攻科生 50.0%である。一方、「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」の割合は1年生 2.7%、2年生 0.0%、3年生 3.8%、専攻科 0.0%であり、1年生から3年生および専攻科生で、「満足」が「不満」を大きく上回っている。

教育施設・設備に対する満足度



満足度の比較 (%)



[問 34]課外活動施設（グラウンド、体育館等）に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある

5. 不満だ

問 34 表 全学年の選択肢別割合（％）

	満足	ほぼ満足	特に不満はない	少し不満	不満	合計
前 回	22.31	13.08	60.00	3.46	1.15	100
今 回	31.35	15.68	47.57	4.86	0.54	100

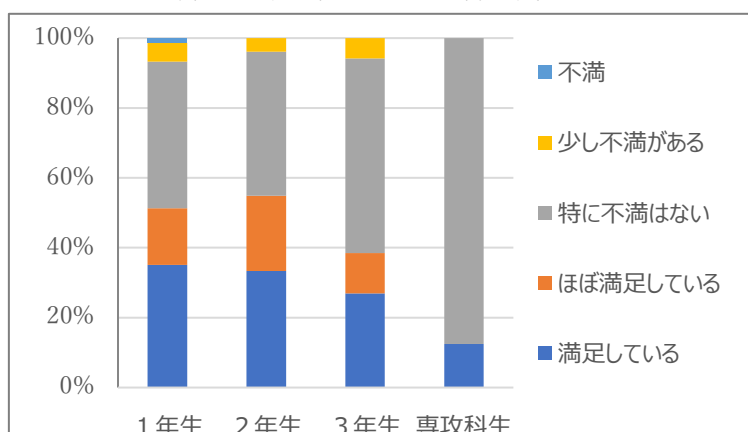
この設問では、課外活動施設（グラウンド・体育館等）の満足度について回答を求めた。

全体としては、「特に不満はない」と回答した学生が 47.6％を占めている。「満足」と「ほぼ満足」を加えた「満足」が 47.0％に対し、「不満」と「少し不満」を加えた「不満」は 5.4％と少ない。

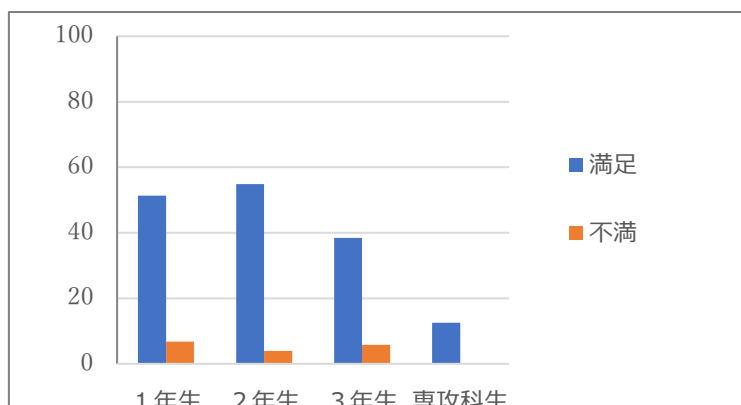
前回と比較すると、「満足」が増え、「特に不満はない」が減少している。

学年別に比較すると、「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」の割合は 1 年生 51.4％、2 年生 54.9％、3 年生 38.5％、専攻科生 12.5％で専攻科がやや低い。一方、「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」の割合は 1 年生 6.8％、2 年生 3.9％、3 年生 5.8％、専攻科 0.0％と、どの学年でも低い。

課外活動施設に対する満足度



満足度の比較（％）



[問 35]学内福利厚生施設（歯学部附属病院受診、保健室、食堂、売店等）に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

問 35 表 全学年の選択肢別割合（％）

	満足	ほぼ満足	特に不満はない	少し不満	不満	合計
前 回	21.92	21.15	49.62	5.77	1.54	100
今 回	30.81	22.70	34.05	10.81	1.62	100

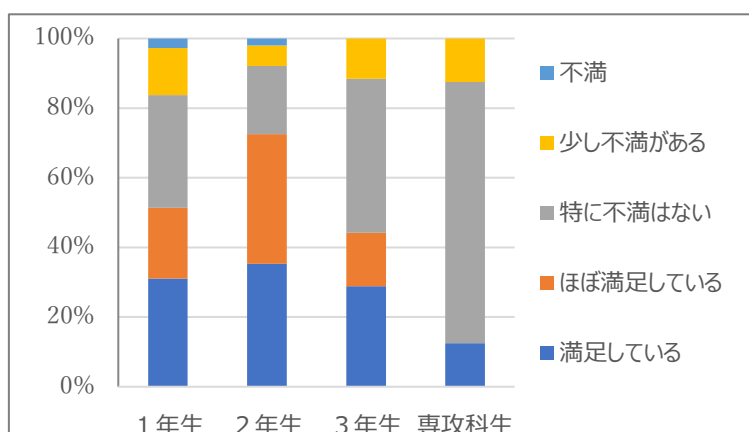
この設問では、学外福利厚生施設（歯学部附属病院受診、保健室、食堂、売店等）の満足度について回答を求めた。

全体としては、「特に不満はない」が最も多く、次に「満足」と「ほぼ満足」で、「少し不満」と「不満」が続く。

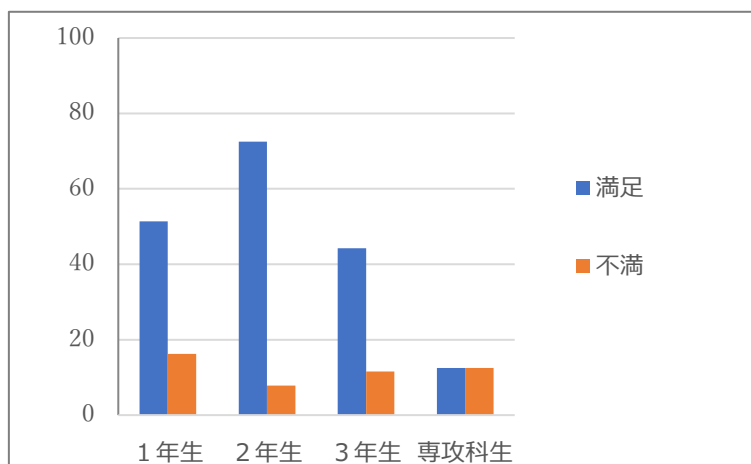
前回と比較すると、「満足」と「少し不満」が増え、「特に不満はない」が減少している。

学年別に比較すると、「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」の割合は、1年生 51.4%、2年生 72.5%、3年生 44.2%、専攻科生 12.5%で、1～3年生は概ね満足であるのに対し専攻科生では満足度が極端に低い。一方、「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」の割合は、1年生 16.2%、2年生 7.8%、3年生 11.4%、専攻科 12.5%で、1年生が高い。なお、歯学部附属病院は、学生が受診するための福利厚生施設ではなく、臨床実習を行う教育施設と捉えており混同している可能性もある。

学内福利厚生施設に対する満足度



満足度の比較 (%)



[問 36]文化活動（楠元祭、公開講演会等）に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

問 36 表 全学年の選択肢別割合 (%)

	満足	ほぼ満足	特に不満はない	少し不満	不満	合計
前 回	16.15	10.77	65.00	5.00	3.08	100
今 回	19.46	15.14	54.05	5.41	5.95	100

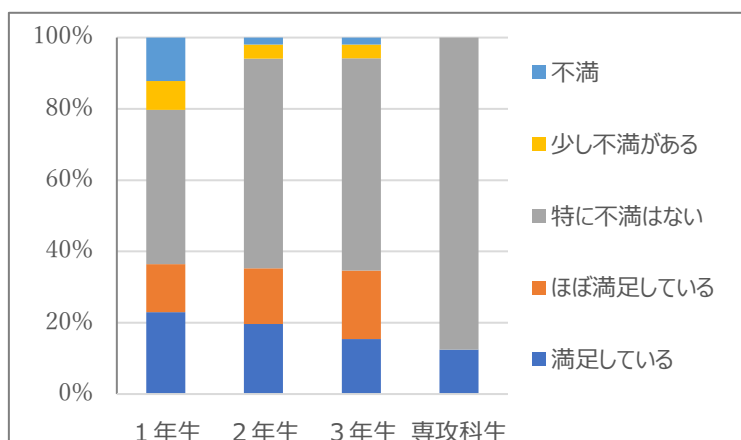
この設問では、文化活動（楠元祭、公開講演会等）の満足度について回答を求めた。

全体としては、「特に不満はない」と答えた学生が 54.1%を占めている。次いで「満足」、「ほぼ満足」が続く。

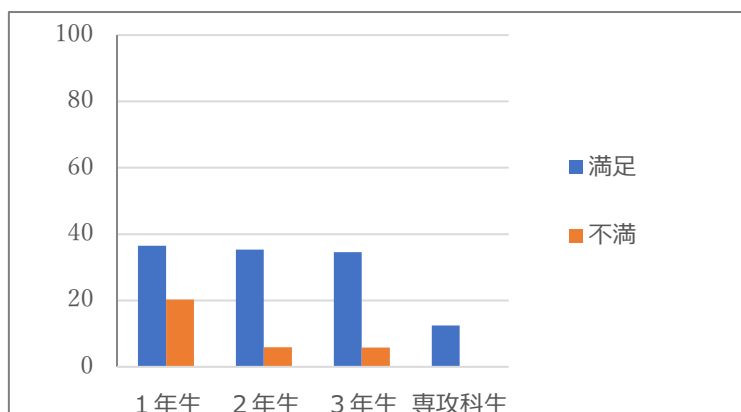
前回は「特に不満はない」が圧倒的に多く、2 年連続で「特に不満はない」と答えた学生が過半数以上を占める。これは、コロナ禍による楠元祭の中止が影響している可能性がある。

学年別に見ると、「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」の割合は 1 年生 36.5%、2 年生 35.3%、3 年生 34.6%、専攻科生 12.5%である。一方、「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」の割合は 1 年生 20.3%、2 年生 5.9%、3 年生 5.8%で、1 年生に多い。また、専攻科では「不満」は 0.0%であり、文化活動への無関心さが現れているのかも知れない。

文化活動に対する満足度



満足度の比較 (%)



[問 37]就職対策（キャリア対策）に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ
- 6.

問 37 表 全学年の選択肢別割合 (%) ※3 年生と専攻科のみが対象

	満足	ほぼ満足	特に不満はない	少し不満	不満	合計
前 回	26.00	17.00	53.00	3.00	1.00	100
今 回	20.00	16.67	60.00	3.33	0.00	100

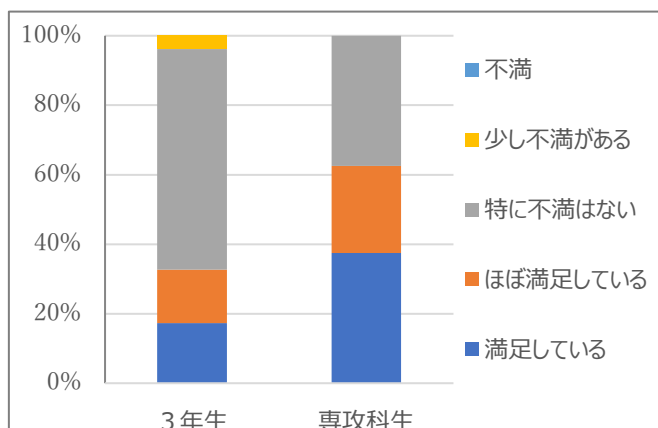
この設問では、就職対策の満足度について3年生と専攻科生に回答を求めた。

全体としては、「特に不満はない」と回答した学生が6割で、次に「満足」、「ほぼ満足」と続き、「少し不満」と「不満」は少ない。

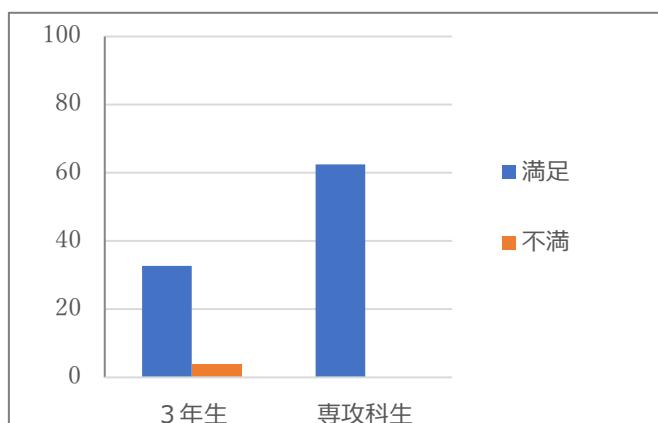
前回と比較しても、ほぼ同じ傾向が認められる。

学年別に見ると、「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」の割合は3年生 32.7%、専攻科生 62.5%で、「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」の割合は3年生 3.8%、専攻科生 0.0%であった。専攻科生の満足度は3年生に比べ高かった。

就職対策に対する満足度



満足度の比較 (%)



[問 38]奨学金制度に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

問 38 表 全学年の選択肢別割合（％）

	満足	ほぼ満足	特に不満はない	少し不満	不満	合計
前 回	24.62	10.00	62.69	1.54	1.15	100
今 回	29.19	12.43	57.84	0.54	0.00	100

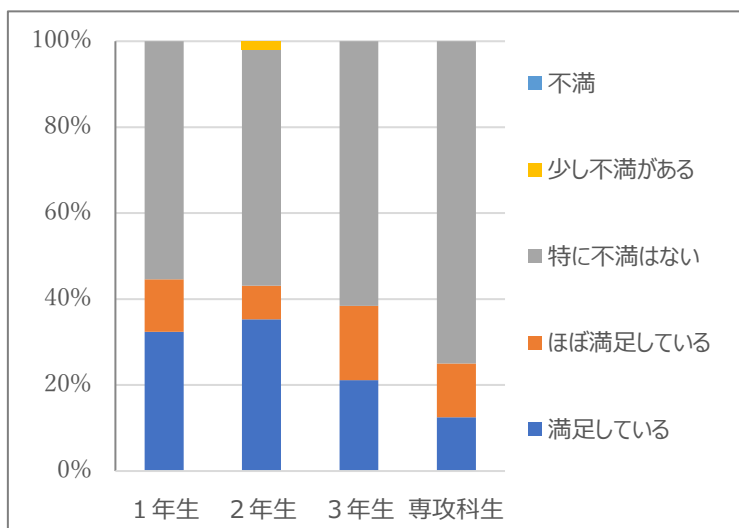
この設問では、奨学金制度の満足度について回答を求めた。

全体としては、「特に不満はない」が約 6 割いる。次いで、「満足」、「ほぼ満足」が続き、「少し不満」と「不満」は極端に少なく、「不満」は 0.0％である。

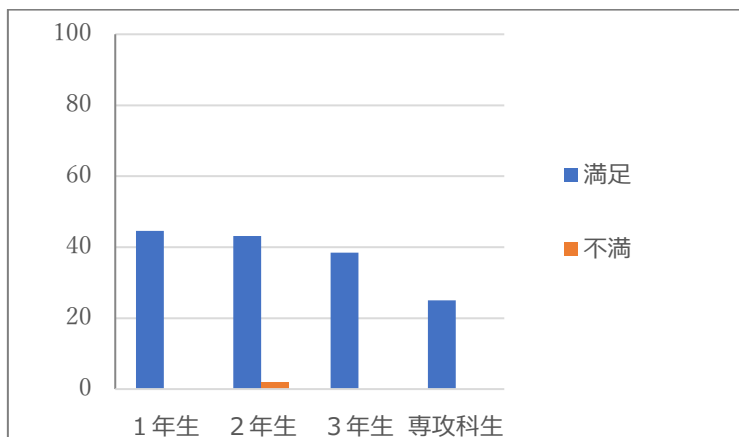
前回と比較しても、傾向は殆ど変わっていない

学年別に見ると、いずれの学年も「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」の割合は、1 年生 44.6％、2 年生 43.1％、3 年生 38.5％、専攻科生 25.0％で、専攻科生でやや低い。その他の学年では大きな違い認められない。一方、「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」の割合は、2 年生で 2.0％あった以外は、0.0％であった。

奨学金に対する満足度



満足度の比較（％）



[問 39]短期大学部事務室の窓口対応・サービスに関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

問 39 表 全学年の選択肢別割合（％）

	満足	ほぼ満足	特に不満はない	少し不満	不満	合計
前 回	20.38	16.15	53.85	6.15	3.46	100
今 回	29.73	20.54	44.86	4.86	0.00	100

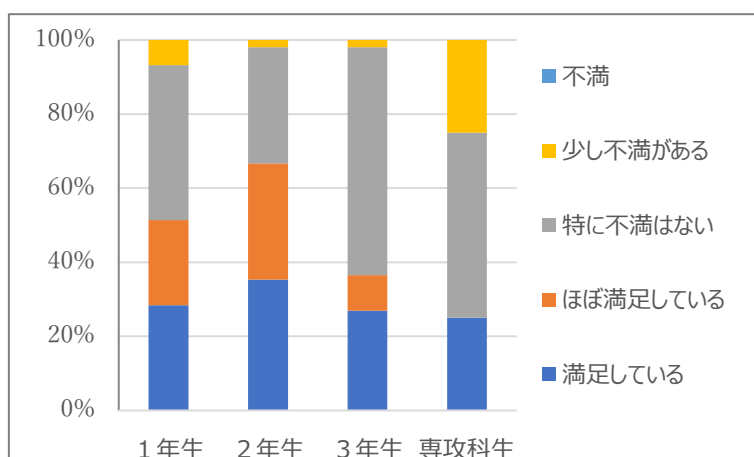
この設問では、事務サービスの満足度について回答を求めた。

全体としては、約半数の学生が「特に不満はない」と回答した。次いで、「満足」、「ほぼ満足」、「少し不満」と続き、「不満」はいなかった。

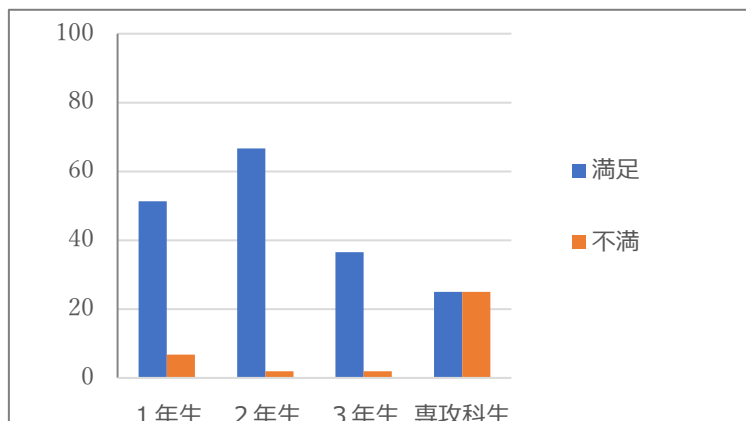
前回と比較すると、「満足」、「ほぼ満足」な学生の割合がやや増加している。

学年別に見ると、「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」の割合は1年生 51.4％、2年生 66.7％、3年生 36.5％、専攻科生 25.0％で、3年生と専攻科生が少ない。一方、「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」の割合は、1年生 6.8％、2年生 2.0％、3年生 1.9％、専攻科生 25.0％で、特に専攻科生で高いのが際だっている。

窓口サービスに対する満足度



満足度の比較 (%)



6. その他

[問 40]個人で情報発信しているメディアについて利用しているものを選択してください。
(複数回答可)

1. 交流系 SNS (Facebook、Twitter、mixi、LinkedIn、Google+ 等)
2. メッセージ系 SNS (LINE、Viber、WhatsApp、Wechat 等)
3. 画像系 SNS (Instagram、Snow 等)
4. 動画共有サイト (YouTube、TikTok、ニコニコ動画等)
5. ブログ (アメーバブログ、Seesaa ブログ等)
6. ホームページ
7. その他
8. どれも利用していない

問 40 表 全学年の選択肢別割合 (%)

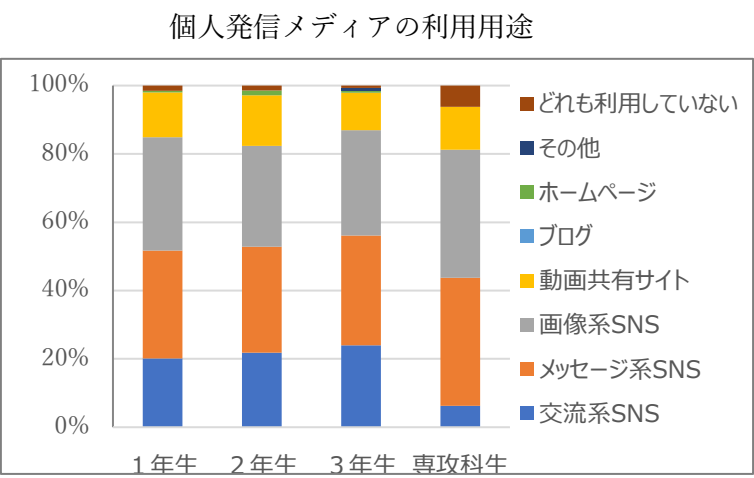
	交 流 系 SNS	メ ッ セ ー ジ 系 SNS	画 像 系 SNS	動 画 共 有 サイト	ブ ログ	ホ ー ム ペ ー ジ	そ の 他	ど れ も 利 用 し て い な い
前 回	60.77	87.69	80.00	38.46	0.00	1.92	0.00	4.62
今 回	57.84	86.49	85.95	35.14	0.00	2.16	0.54	3.78

この設問では、個人で情報発信しているメディアについて回答を求めた。複数回答を可としているため、回答総数は 503 で、内訳は 1 年生 199, 2 年生 142, 3 年生 146, 専攻科 16 であった。

全体的には、「メッセージ系」と「画像系」の利用が高く 80%を超えている。次いで「交流系」の 57.8%、「動画共有サイト」の 35.1%と続く。また「どれも利用していない」も 3.8%いる。前回と比較しても傾向はほとんど変わっていない。

学年別の利用用途は、「交流系」が 1 年生 20.1%, 2 年生 21.8%, 3 年生 24.0%, 専攻科生 6.2%, 「メッセージ系」が 1 年生 31.7%, 2 年生 31.0%, 3 年生 32.2%, 専攻科生 37.5%, 「画像系」が 1 年生 33.2%, 2 年生 29.6%, 3 年生 30.8%, 専攻科生 37.5%である。「メッセージ系」、「画像系」ではどの学

年も同程度の利用状況であった。



[問 41]タバコを吸いますか。(複数回答可)

1. 吸わない
2. 紙巻きタバコを吸う
3. 加熱式タバコを吸う
4. 電子タバコを吸う
5. 水タバコを吸う
6. 無煙タバコを吸う
7. 以前は吸っていたが、やめた

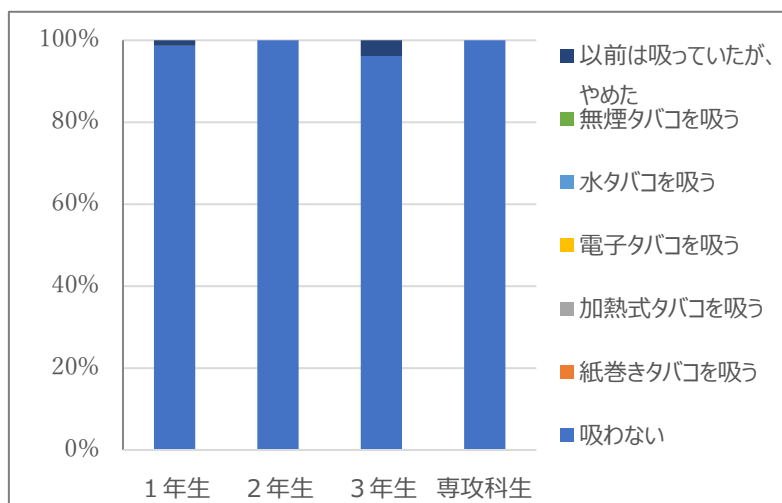
問 41 表 全学年の選択肢別割合 (%)

	吸わない	紙巻タバコ	加熱式タバコ	電子タバコ	水タバコ	無煙タバコ	やめた
前 回	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
今 回	98.38	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.62

この設問は、たばこを吸う習慣について回答を求めた。

全体として、「以前は吸っていたが、やめた」学生が 1.62%いるが、現在はタバコを吸う学生はいない。
前回の調査では、「やめた」学生すらいなかったが、今回は「やめた」学生がわずかではあるが存在した。
学年別では、「やめた」学生が、1 年生 1.4%、3 年生 3.8%いた。

タバコを吸う習慣



[問 42]楠元キャンパスを敷地内禁煙にすべきだと思いますか。※建物内だけでなく通路やグラウンド等キャンパス内すべて禁煙

1. 敷地内禁煙にすべき
2. 喫煙場所での喫煙（分煙）を徹底すればよい

問 42 表 全学年の選択肢別割合（％）

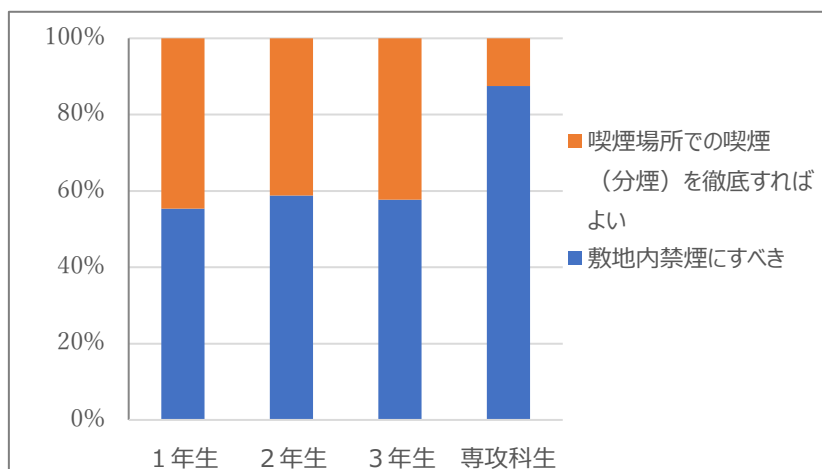
	敷地内禁煙	喫煙場所での喫煙（分煙）を徹底	合計
前 回	59.62	40.38	100
今 回	58.38	41.62	100

この設問は、楠元キャンパス内禁煙について回答を求めた。

全体として、「敷地内禁煙にすべき」が 6 割、「喫煙場所での喫煙（分煙）を徹底」が 4 割であった。前回と同様の傾向である。

学年別には、「敷地内禁煙すべき」と答えた学生の割合は、1 年生 55.4％、2 年生 58.8％、3 年生 57.7％、専攻科生 87.5％で、専攻科生で特に高かった。

敷地内禁煙について



[問 43]大麻、覚せい剤、危険ドラッグ等の薬物について選択してください。(複数回答可)

1. 使用したいと思わない
2. 使用してみたいと思ったことがある
3. 友人・知人で使用した人を見た（または聞いた）ことがある
4. 使用について誘われたことがある

問 43 表 全学年の選択肢別割合 (%)

	使用したいと思わない	使用してみたいと思ったことがある	使用した人を見た（聞いた）	使用について誘われた
前 回	98.46	0.77	1.15	0.00
今 回	99.46	0.00	2.16	0.00

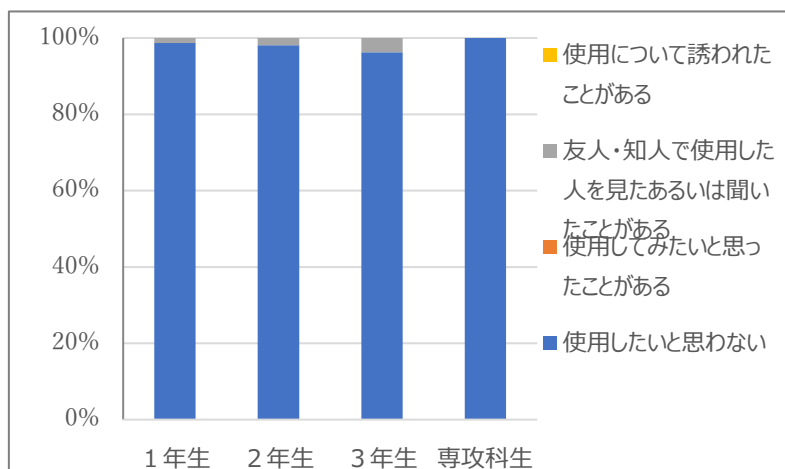
この設問は、大麻・覚醒剤などの薬物の使用についてどう思うかおよび経験の有無について回答を求めた。

全体としてみると、ほとんどの学生は「使用したいと思わない」と回答している。「使用してみたいと思ったことがある」と回答した学生はいなかったが、「友人、知人で使用した人を見た（または聞いた）ことがある」が2.2%認められた。

前回と比較すると、「使用してみたいと思ったことがある」と回答した学生は減少した。「友人、知人で使用した人を見た（または聞いた）ことがある」学生は増加しているが、概ね同様の傾向を示している。

学年別にみると、「使用したいと思わない」学生の割合が、1年生 100.0%、2年生 100.0%、3年生 98.1%、専攻科生 100.0%で、学年による大きな違いは認められない。

大麻・覚醒剤などの薬物について



[問 44] ボランティア活動に参加したことがありますか。

1. ある
2. ない

問 44 表 全学年の選択肢別割合 (%)

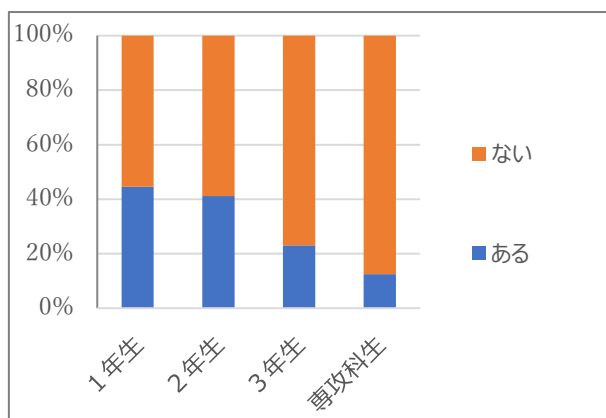
	ある	ない	合計
前 回	38.46	61.54	100
今 回	36.22	63.78	100

この設問では、ボランティア経験の有無について回答を求めた。

全体としては、ボランティア活動に参加した経験の「ある」学生が約 4 割, 「ない」学生が約 6 割である。前回と比較すると、同様の傾向を示している。

学年別にみると、ボランティア活動経験者は、1 年生 44.6%, 2 年生 41.2%, 3 年生 23.1%, 専攻科生 12.5% である。経験者は 1, 2 年生に多く、学年が上がるに従って少なくなっていた。

ボランティア経験の有無



[問 45] ボランティア活動に参加しようと思いますか。

1. 参加しようと思う
2. 参加しようとは思わない

問 45 表 全学年の選択肢別割合（％）

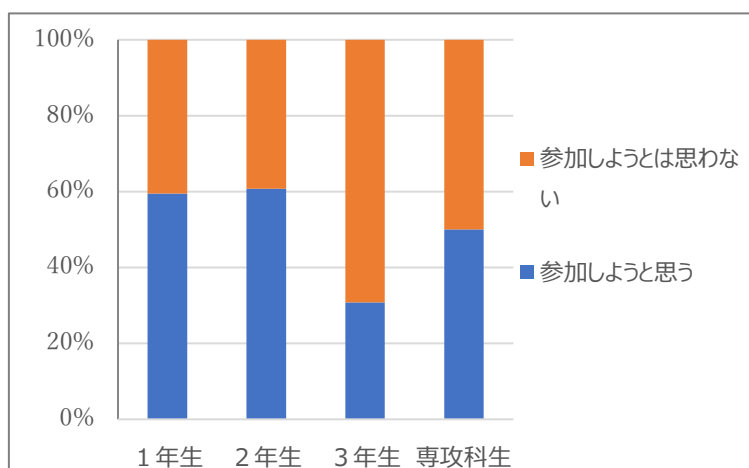
	参加しようと思う	絶対参加 したくない	合計
前 回	39.23	60.77	100
今 回	51.35	48.65	100

この設問では、今後ボランティア活動に参加したいかどうかについて回答を求めた。

全体としては、「参加しようと思う」学生と、「参加しようとは思わない」学生が約半数で、同程度である。前回より「参加しようと思う」学生が増えている。

学年別にみると、ボランティアへの「参加意思のある」学生は、1 年生 59.4％、2 年生 60.8％、3 年生 30.8％、専攻科生 50.0％で、1、2 年生で多く、3 年生で少なくなっていた。

ボランティアへの参加意思



[問 46] 過去にハラスメントをどこかで受けたことがありますか。(複数回答可)

1. 学外（アルバイト先も含む）
2. 通学途中
3. 学内のクラブ・サークル
4. 学内の教室
5. 学内のその他の場所
6. 受けたことがない

問 46 表 全学年の選択肢別割合（％）

	通学途中	学内のクラブ・ サークル	学内の教室	学内の その他の場所	学外 (アルバイト先)	受けたことがない
前 回	2.69	0.00	0.77	0.77	5.00	91.54
今 回	1.08	0.54	0.54	2.16	9.19	88.65

この設問では、過去にハラスメントをどこで受けたかについて回答を求めた。複数回答が可能であり、回答者数は1年生 76、2年生 52、3年生 53、専攻科生 8 で、1年生と3年生に複数回答したものが各1名いた。総回答者数は189である。

全体としては、ハラスメントを「受けたことがない」学生が9割弱で、受けたことのある学生は1割強である。受けた学生では、学外の割合が9.2%で最も多く、次いで学内のその他の場所 2.2%、「通学途中」1.1%である。

前回と比較すると、学外で受けた学生がやや増加しているが、傾向は概ね変わらないと思われる。

学年別に比較すると、「受けたことがない」学生は1年生 89.5%、2年生 86.5%、3年生 83.0%、専攻科生 87.5%で、どの学年とも8割以上の学生は受けていない。

ハラスメントの経験

